取扱説明書

ルームエアコン ツルフィド

先進呼吸

PLASMA AERO

室内ユニット

AS45FPW2W

（室外ユニット AO45FPW2）

正しくお使いいただくために、
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。
ご使用中にわからないことや不具合が生じたときにお役に立ちます。
特に、安全上のご注意は必ず読んで正しくお使いください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに
『保証書』とともに必ず保存してください。

●据付けや取りはずしには、専門技術が必要です。
　必ずお買上げの販売店にご相談ください。

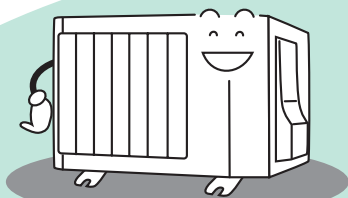
保証書別添

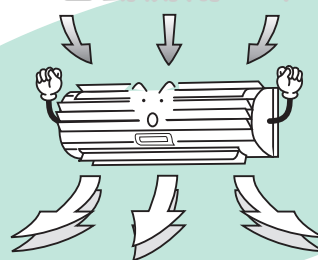
●この取扱説明書は、再生紙を使用しています。

株式会社 富士通ゼネラル

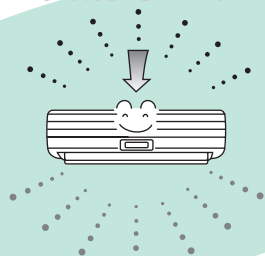
特長

一年中使うエアコンだから
より使いやすく、快適に……。

I-PAM制御

高効率な圧縮機制御を可能としたインテリジェントパワーモジュール（IPM）と、電気の力をムダなく引き出すPAM制御を組み合わせることで、省エネ性の高い運転を行います。

自動開閉パネル

10ページ

お部屋の空気を大きくスムーズに吸い込むので、足もとまで効率よくパワフルな温風を送ります。

空気清浄運転

22～23ページ

お部屋の空気を電気の力で素早くきれいにします。また、空気の汚れ具合を空気清浄モニターでチェックすることができます。

サラサラ運転

24～25ページ

除湿効果を高めた快適な冷房・ドライ運転です。

温度モニター

28ページ

室内温度や屋外温度をチェックしながら、お好みに合わせて適切な温度設定ができます。

足もと温風メカ（パワー・ディフューザー）でパワフル暖房（21ページ）

目次

ページ

安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- この項目は、いずれも安全に関する内容ですので、必ず守ってください。
- 「警告」「注意」の意味は次のようになっています。

⚠警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されるもの。
⚠注意	取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険が想定されるものおよび物的損害のみの発生が想定されるもの。

絵表示について

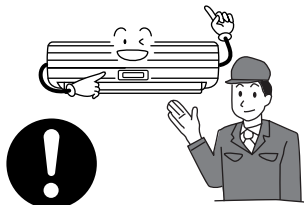
⚠記号は、警告・注意を告げるものです。

⃠記号は、禁止の行為を告げるものです。記号の中や近くの絵は具体的な禁止内容を表しています。（左図の場合は、分解や修理・改造の禁止）

●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。記号の中の絵は具体的な指示内容を表しています。（左図の場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください）

据付け時

⚠警告

据付けは、お買上げの販売店にご依頼を

- ご自分で据付け工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災の原因となります。

電源は必ずエアコン専用のコンセントをお使いください

- エアコンのコンセントを他の電気機器と共用すると電源の容量が不足し、火災の原因となります。

エアコンを移設する場合は、お買上げの販売店にご相談を

- 移設工事に不備があると、水漏れや感電・火災の原因となります。

⚠注意

アースを取り付けて

- 対地電圧が150ボルトを超える電源で使用する場合にあっては、必ずアースを取り付け、その他の場合にあっては、できるだけアースを取り付けて使用してください。
- アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。
  ガス管：爆発や引火の危険
  水道管：アースの役目をしない
  避雷針、電話のアース線：落雷のとき危険
- アースが不完全な場合は感電の原因となることがあります。
- アースは、アース接続用ネジにつないでください。
- アースは、感電防止の他に、テレビ、ラジオに入る雑音を防ぐ効果もあります。

次ページへつづく

据付け時

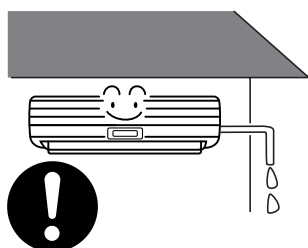
⚠注意

漏電遮断器を取り付けて

●据付場所によっては漏電遮断器の取付けが法規で義務づけられています。お買上げの販売店または電気工事店にご相談ください。
●漏電遮断器がないと、感電の原因となることがあります。

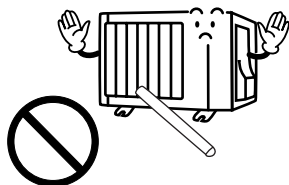
可燃性ガスが漏れる恐れのある所へは据え付けないで

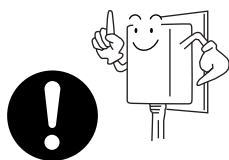
●万一ガスが漏れてエアコンの周囲にたまると、発火の原因となることがあります。

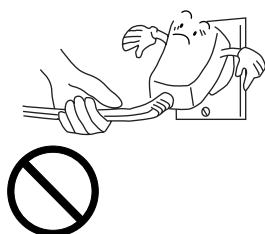
ドレンホースは、確実に排水するように配管を

●配管に不備があると屋内に浸水し､家財等をぬらす原因となることがあります。室内ユニットの下には、なるべく高価な家財等を置かないでください。

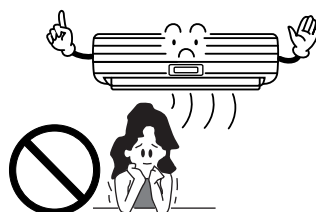
ご使用時

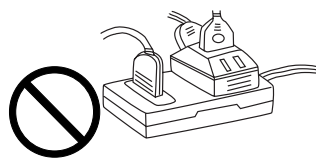
⚠警告

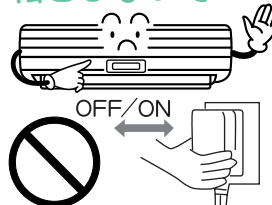
吹出口や吸込口に指や棒などを入れないで

●内部でファンが高速回転していたり、高電圧箇所があるため、ケガや感電の原因となります。
●特にお子様にご注意ください。

電源プラグはホコリが付着していないか確認し､ガタツキのないように刃の根元まで確実に差し込んで

●ホコリが付着していたり、差込みが不完全な場合やコンセントがゆるい場合は、火災・感電の原因となります。

電源コードを破損しないようにご注意を

●電源コードは、束ねたり、重い物を乗せたり、引っ張ったりすると破損することがあります。傷んだまま使用すると、火災・感電の原因となります。

長時間冷風を身体に当てたり冷やし過ぎたりしないで

●体調悪化、健康障害の原因となります。
●特に、就寝時や乳幼児、お年寄り、病気の方などがいる場合にはご注意ください。

電源コードの改造や延長コードの使用､タコ足配線はしないで

●火災・感電の原因となります。

電源プラグの抜き差しや､主電源スイッチの切／入により､エアコンの停止や運転をしないで

●火災・感電の原因となります。

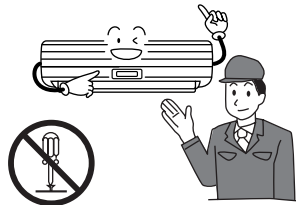
安全上のご注意（つづき）

ご使用時

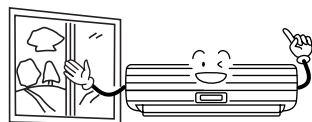
⚠警告

異常時（こげ臭い等）はすぐに運転を停止して電源プラグを抜き、お買上げの販売店または当社サービス窓口にご連絡を

●異常のまま運転を続けると、火災・感電の原因となります。

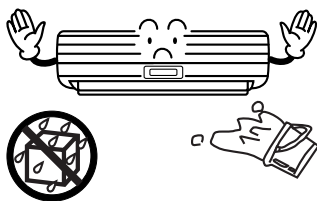
修理はお買上げの販売店にご依頼を

●ご自分で分解や修理をされ不備があると、火災・感電の原因となります。

⚠注意

運転中はときどき換気を

●特に冬期にストーブなどと一緒に運転するときは、こまめに換気をしてください。
●換気が不十分な場合は、酸素不足の原因となることがあります。

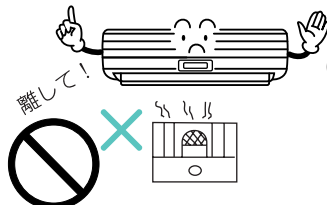
室外ユニットの上に乗ったり、物を乗せたりしないで

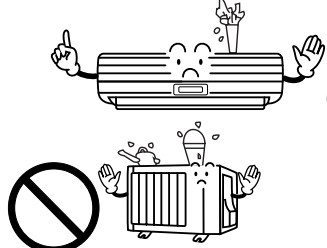
●落下、転倒などにより、ケガの原因となることがあります。

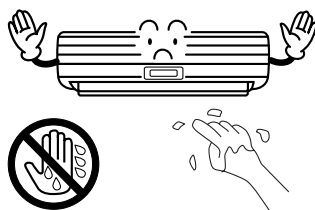
エアコンを水洗いしないで

●電気絶縁が悪くなり感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときにコードを引っ張らないで

●コードを引っ張って抜くと、芯線の一部が断線し、発熱発火の原因となることがあります。

エアコンの風が直接当たる所に燃焼器具を置かないで

●燃焼器具に風が当たると、不完全燃焼を起こしたり火災の原因となることがあります。

エアコンの上に花瓶等の水の入った容器を乗せないで

●水がこぼれるとエアコン内部に浸水して電気絶縁が低下し、感電等の原因となることがあります。

濡れた手で本体のスイッチを操作したり、電源プラグの抜き差しをしないで

●感電の原因となることがあります。

エアフィルターの清掃などをするときは必ず運転を停止し、電源プラグも抜いて

●内部でファンが高速回転していますのでケガの原因となることがあります。

長期間ご使用にならない場合は、安全のため電源プラグを抜いて

●プラグにホコリがたまって、発煙・発火の原因となることがあります。

⚠注意

幼児が誤って電池を飲み込まないようにご注意を

●電池を飲み込んだ場合は、すぐにはき出させるか、医師にご相談ください。健康を害する原因となります。

正しいアンペアのヒューズ以外は使用しないで

●ヒューズ以外は使用しないでください。火災の原因となることがあります。

清掃のときなど、集じんユニットや光再生脱臭フィルター枠の取り付けは確実に

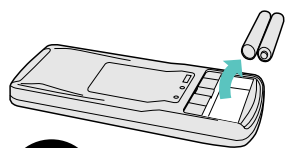
●取り付けに不備があると、集じんユニットや光再生脱臭フィルター枠の落下によるケガの原因となることがあります。

吸込グリルをはずさないで

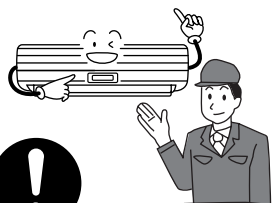
●吸込グリルをはずすことはできません。無理にはずすと、故障や落下によるケガの原因となることがあります。

吸込グリルの掃除のときなど不安定な台に乗らないで

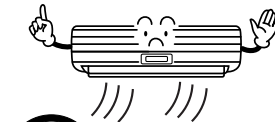
●転倒などによるケガの原因となることがあります。

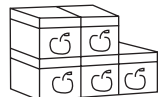
長期間リモコンを使用しない場合は電池を取り出して

●電池から液が漏れる場合があります。
●漏れた液が皮膚についたり、目や口に入った場合は、すぐに水で洗い流してください。なお症状によっては、医師にご相談ください。

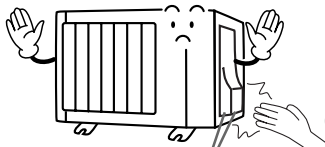
室内ユニット内部の清掃は、お買上げの販売店または当社サービス窓口にご相談を

●市販の洗浄剤などをご使用になると、場合によってはプラスチック部品が破損したり、排水経路の詰まりなどに至ることがあり、水漏れなどの故障や感電の原因となる場合があります。

長期間の使用で据付台等が傷んでいないかご注意を

●傷んだ状態で放置するとエアコンの落下につながり、ケガの原因となることがあります。

動植物に直接風が当たる場所には設置しないで

●動植物に悪影響を及ぼす原因となることがあります。

食品、動植物、精密機器、美術品の保存など、特殊な用途には使用しないで

●保存品の品質低下等の原因となることがあります。
●お部屋の冷房、暖房、除湿以外の特殊な用途には使用しないでください。

接続バルブは、暖房時に熱くなるので触らないで

●接続バルブに触れるとやけどの原因となることがあります。

熱交換器に強く触らないで

●ケガの原因となることがあります。
●特に、掃除のときなどにご注意ください。

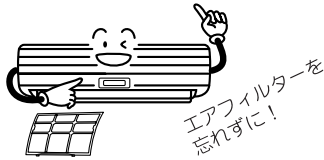
エアフィルター・集じんユニットを水洗いした後は、水気をふき取って陰干しをして

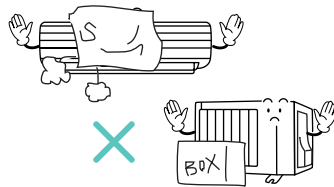
●水気が残っていると感電の原因となることがあります。

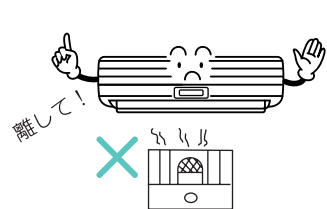
知っておいていただきたいこと

故障を防ぐために必ずお読みください。

使用上のお願い

エアフィルターを入れて運転をしてください。

●入れないで運転しますと機械が汚れ、故障の原因となります。

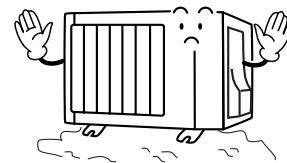
吸込口・吹出口をふさがないでください。

●障害物があると性能が低下したり、正常な運転ができず、故障の原因となります。

エアコンのそばにストーブなどを置かないでください。

●熱のため外装が変形することがあります。

据付け上のお願い（移設工事には、必要な実費がかかります）

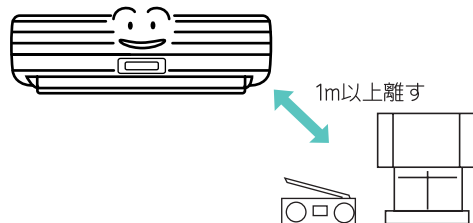
特殊な場所での据付けは販売店にご相談ください。

●海浜地区で潮風の当たる場所、温泉地帯など硫化ガスの発生する場所、機械油の多い所などでご使用になる場合は、腐食などにより故障の原因となることがありますので、お買上げの販売店にご相談ください。

除湿水の処理しやすい所に据え付けてください。

●除湿水が隣家などの迷惑とならないようにしてください。
●暖房運転のときには、室外ユニットから水が出ます。また冷房・ドライ運転のときには、接続バルブに水がつき、室外ユニットから流れ出すことがあります。

排気口、換気扇など蒸気、油煙、チリ、ホコリの排出される付近は避けてください。

●油煙のある場所や、工場などで油を多く使用している付近への据付けは避けてください。故障の原因となることがあります。

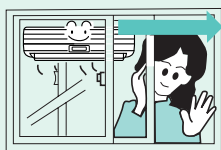
エアコン本体及びリモコンは、テレビやラジオから 1m 以上離してください。

●テレビやラジオに映像の乱れや雑音が入る場合があります。

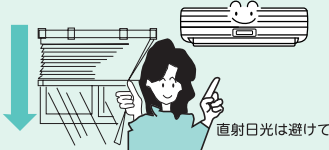
騒音にもご配慮を

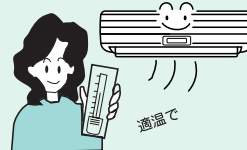
●据付けにあたっては、エアコンの重量に十分耐える場所で、騒音や振動が増大しないような場所をお選びください。
●エアコンの室外吹出口からの温風や騒音が隣家の迷惑にならないような場所をお選びください。
●エアコンの室外吹出口の近くに物を置きますと、機能低下や騒音増大のもとになりますので、吹出口付近に障害物を置かないでください。
●エアコンをご使用中異常音がする場合などは、お買上げの販売店にご相談ください。

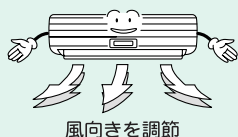
上手な使い方

エアコンの上手な活用法です。

窓やドアは必要以外は閉めて

冷気や暖気が逃げないように窓やドアは必要なとき以外は閉めてください。

熱の侵入や発生を少なく

冷房時、直射日光の当たる窓にはカーテンを引くか、ブラインドをおろしてください。

室内温度は適温に

冷やしすぎ、暖めすぎは健康上よくありません。
また、電気のムダ使いにもなります。

室内温度はムラのないように

室温のムラが少なくなるように、上下、左右方向に風向きを調節してください。

タイマーを有効に

タイマーを使って必要な時間だけ運転してください。

エアフィルターの清掃はこまめに

エアフィルターの目詰まりは風の流れを悪くし、冷・暖房効果を弱めます。

ご使用上の知識

エアコンのご使用にあたっては、次のことをご了解願います。

運転と性能について

暖房能力

●このエアコンはインバーターの働きにより、外気温度が低下すると圧縮機の回転数を上げ、能力の低下を防ぎますが、それでも暖房能力が不足する場合には他の暖房器具の併用をおすすめします。

自動霜取り運転

●外気温度が低く湿度が高いときに暖房運転を行いますと、室外ユニットに霜がつき、暖房能力が低下します。このようなときはマイコンにより、除霜運転（霜取り）が始まり、暖房がいったん止まります（室内・室外ファンが停止します）。元の運転に戻るまでに約4～15分程度の時間がかかります。除霜運転時は運転ランプ（赤）が点滅します。

● OFF時除霜
暖房運転を止めたとき室外ユニットに霜がついていると、自動的に除霜運転を行います。このとき室内ユニットの運転ランプ（赤）が点滅し、室外ユニットだけが数分間運転した後に止まります。
次回の運転時には、霜なし状態で暖房をスタートさせる快適機能です。

ニオイ軽減機能

●冷房・ドライの自動風量時、室外ユニットの運転よりも遅れて室内ファンが運転を開始したり、室外ユニット停止時に室内ファンが停止したりします。これは室内ユニット内部に吸着したニオイが、風で出てくるのを軽減するためです。

温度・湿度の範囲について

ご使用になれる温度・湿度の範囲は、次の表のとおりです。

運転	範囲
冷房運転	室外温度　約21～43℃
	室内温度　約18～32℃
	室内湿度　約80％以下 高い湿度の中で長時間運転すると、エアコンの表面に露がつき、滴下することがあります。
ドライ運転	室外温度　約21～43℃
	室内温度　約18～32℃
	室内湿度 高い湿度の中で長時間運転すると、エアコンの表面に露がつき、滴下することがあります。
暖房運転	室外温度　約24℃以下
	室内温度　約30℃以下

●上記使用範囲より高い温度で運転しますと、自動保護装置が働き、運転を停止することがあります。
また、冷房・ドライ運転の場合、上記使用範囲より低い温度で運転しますと、熱交換器が凍り、水漏れなど故障の原因となることがあります。

●エアコンは、お部屋の冷房・暖房・除湿または送風以外の目的にご使用にならないでください。

各部の名前と働き

正しくお使いいただくために、各部の名前と位置を確認してください。
詳しくは　　　　内のページをご覧ください。

室内ユニット（本体）

本体表示部　11

集じんユニット　36
タバコの煙や目に見えない細かなホコリを取り除きます。

光再生脱臭フィルター　38
お部屋のイヤな臭いを柔げます。

エアフィルター　35
ホコリやゴミが内部に入るのを防ぎます。（2枚）

上下風向板　20
風の上下方向の調節ができます。

左右風向板　20
（上下風向板の裏側）
風の左右方向の調節ができます。

パワー・ディフューザー 21
＜足もと温風メカ＞
上下風向板を下吹きにすると、下方に開きパワフルな温風を吹き出します。

自動開閉パネル（上面）

自動開閉パネル（前面）

電源コード

電源プラグ

吸込グリル
＜自動開閉パネル＞
室内の空気を吸い込むところです。運転の種類に応じて前面と上面の自動開閉パネルが自動的に動きます。運転を停止すると閉まります。

- 吸込グリルをはずすことはできません。無理にはずそうとすると、故障の原因となります。
- パネルを手で動かさないでください。無理に手で動かすと、故障の原因となったり、吹出口付近に露がつき、水滴が落ちることがあります。
- パネルに物を掛けたり、開いた中に物を入れないでください。故障の原因となります。

空清リセット・強制自動ボタン　34
リモコンが使えないときなど応急運転するためのボタンです。
また、空清チェック機能（☞36ページ）が働いているときは空清リセットボタンとなります。

主電源スイッチ　14
＜待機電力ゼロスイッチ＞
運転するときは「入」にします。「切」にすると、リモコン信号の受信待ちのための電力をゼロにすることができます。

自動開閉パネルの動作について

①全開……………エアコン（暖房・冷房・ドライ・送風）運転時（☞16～19ページ）
「空清」のみの運転及びエアコンと「空清」の併用運転時（☞22～23ページ）
②半開……………エアコンと「強力空清」の併用運転時（☞23ページ）
③全閉……………「強力空清」のみの運転時（☞22ページ）
④前面のみ全閉…サラサラドライ運転時（☞25ページ）

次ページへつづく

室外ユニット

吸込口
（背面、側面）

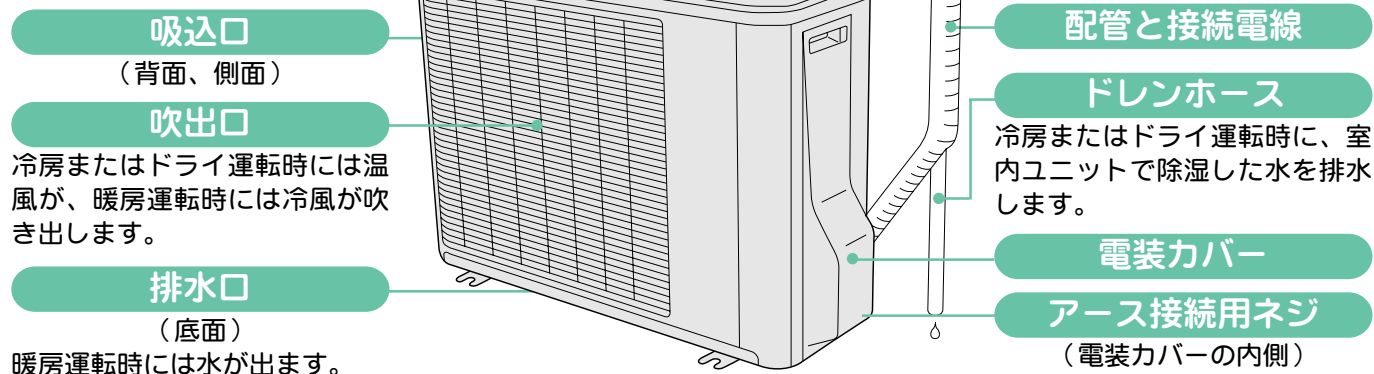
吹出口
冷房またはドライ運転時には温風が、暖房運転時には冷風が吹き出します。

排水口
（底面）
暖房運転時には水が出ます。

配管と接続電線

ドレンホース
冷房またはドライ運転時に、室内ユニットで除湿した水を排水します。

電装カバー

アース接続用ネジ
（電装カバーの内側）

お願い
室外ユニットの上に乗ったり、物を乗せたりしないでください。破損の原因となります。

本体表示部

運転ランプ（赤）
運転中に点灯します。

空気清浄モニター用センサー 22
お部屋の空気の汚れを検出するところです。

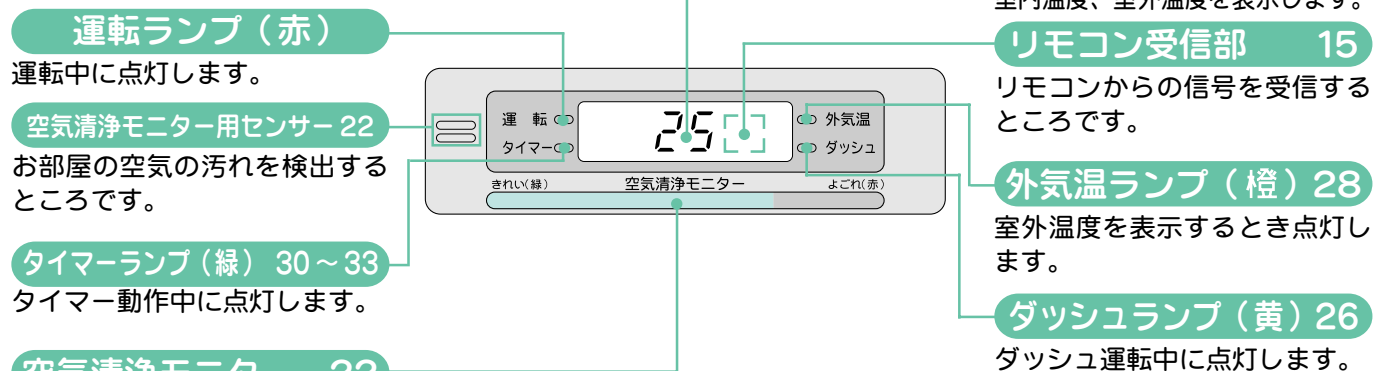
タイマーランプ（緑） 30～33
タイマー動作中に点灯します。

空気清浄モニター　22
お部屋の空気の汚れを2色のランプで表示します。空気がきれいな状態であれば緑色が多く、汚れてくると赤色が多くなります。

温度モニター（橙）28
室内温度、室外温度を表示します。

リモコン受信部　15
リモコンからの信号を受信するところです。

外気温ランプ（橙）28
室外温度を表示するとき点灯します。

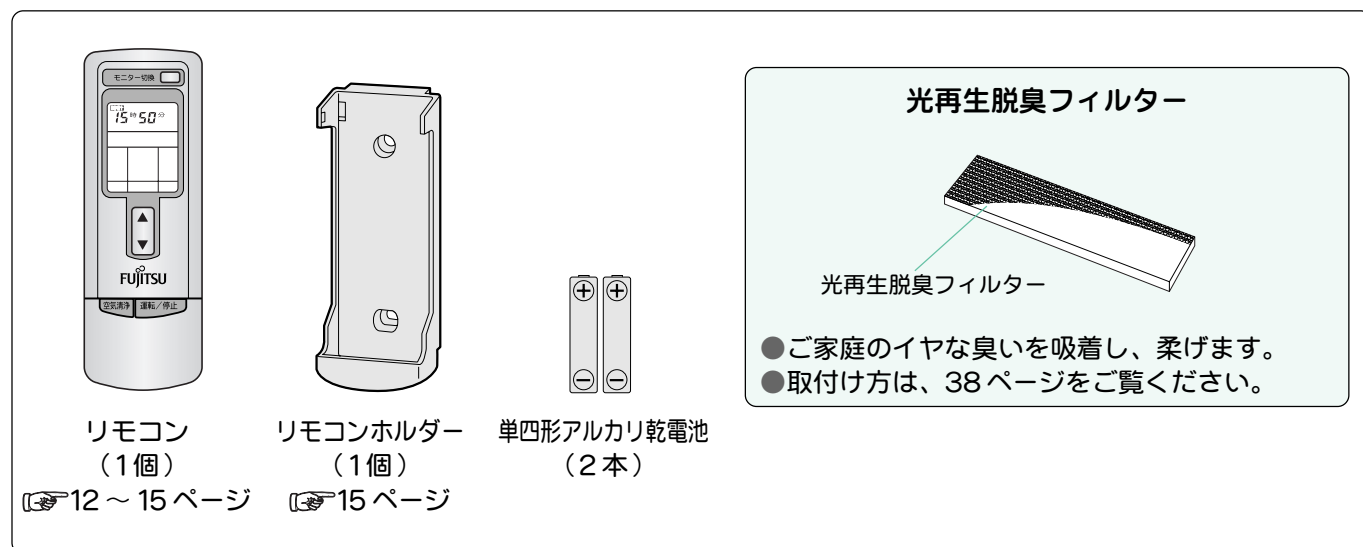
ダッシュランプ（黄）26
ダッシュ運転中に点灯します。

お知らせ
●運転ランプとタイマーランプが交互に点灯しているときは、停電などでいったん電源が切れたことを示します。
●運転ランプとタイマーランプが同時に点滅しているときは、試運転に設定されていることを示します。（☞13ページ）

付属品

リモコン
（1個）
☞12～15ページ

リモコンホルダー
（1個）
☞15ページ

単四形アルカリ乾電池
（2本）

光再生脱臭フィルター
●ご家庭のイヤな臭いを吸着し、柔げます。
●取付け方は、38ページをご覧ください。

各部の名前と働き（つづき）

運転操作はリモコンで行います。各部の名前と働きを確認してください。
詳しくは　　　　内のページをご覧ください。

リモコン

フタを閉じたとき　フタを開けたとき

リモコン送信部
エアコン本体に信号を送ります。

モニター切換ボタン　28
本体の温度表示を切り換えます。
（室温／外気温／無表示）

リモコン表示部
運転状態を表示します。

温度・時間設定ボタン
温度やタイマー時間の設定、変更などに使います。

空気清浄ボタン　22

運転／停止ボタン
押すと運転、もう一度押すと停止します。

タイマーボタン　30
タイマーの種類を切り換えます。

運転切換ボタン
運転の種類を切り換えます。

温度・時間設定ボタン
【⊞⊟ボタン】
温度やタイマー時間の設定、変更などに使います。

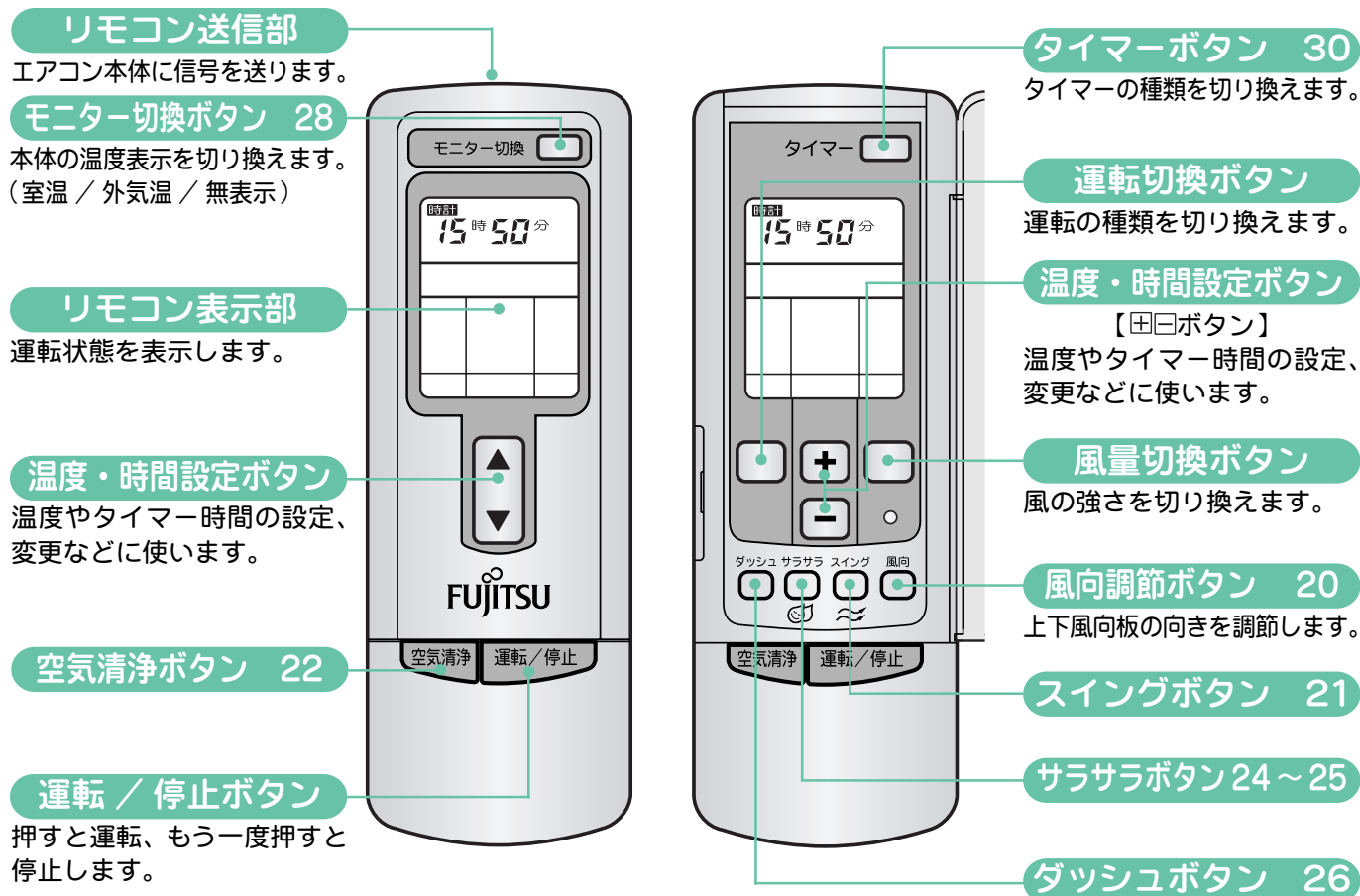
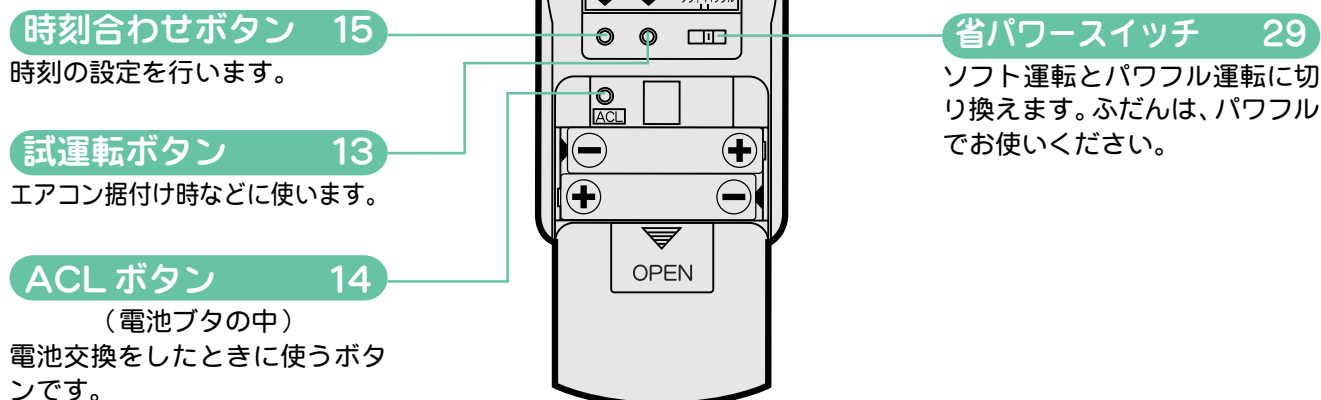
風量切換ボタン
風の強さを切り換えます。

風向調節ボタン　20
上下風向板の向きを調節します。

スイングボタン　21

サラサラボタン 24～25

ダッシュボタン　26

モニター切換
時計
15時50分
FUJITSU
空気清浄　運転／停止
タイマー
ダッシュ　サラサラ　スイング　風向

説明のため全部表示した図になっていますが、実際には、該当するところだけを表示します。

リモコン表示部

送信表示
本体へ信号を送るときに表示します。

時間表示
●「時計」が表示されているとき現在時刻を表示しています。（0時00分～23時59分）
●「タイマー」が表示されているときタイマー時刻を表示しています。（0時00分～23時55分）
なお、おやすみタイマーに設定されているときは、時間（5分後～9時間55分後）で表示されます。

空清運転モード表示 22
空清運転モードを表示します。（空清、強力空清、空清停止）

運転モード表示
設定された運転の種類を表示します。

タイマーモード表示
設定されたタイマーの種類を表示します。
（おやすみ、切、入、プログラム、取消）

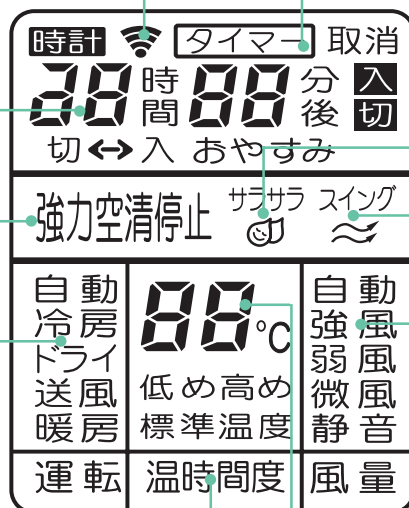
サラサラ表示 24 ～ 25
サラサラダッシュ、サラサラ冷房、サラサラドライ運転のときに表示します。

スイング表示 21
スイング風向のときに表示します。

風量モード表示
風量（風の強さ）を表示します。

温度表示
設定された室温を表示します。

お部屋の状態により、室温と設定した温度が異なる場合があります。

温度・時間設定表示
「温度」または「時間」に表示が切り換わり、⊞⊟ボタンでその設定ができます。

リモコン操作と表示について（そこだけ表示機能）

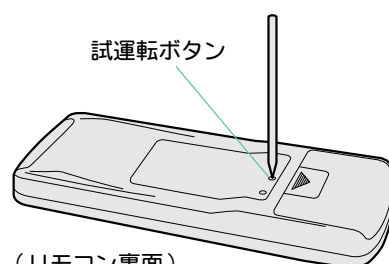
●リモコンのボタン操作を行うと、操作に関する内容だけを表示し、その他の表示は消えます。（そこだけ表示機能）操作内容が確認しやすい便利な機能です。
●運転切換・温度切換・風量切換などは1回押すとそこだけ表示機能が働き、２回目のボタン操作から設定内容の変更が行われ、本体に信号が送信されます。

試運転ボタンについて

●このボタンは、エアコン据付け時などに使用します。ふだんは使用しないでください。（室温調節機能が働きません）
●運転中にこのボタンを押すと試運転に設定され、エアコン本体の運転ランプとタイマーランプが同時に点滅します。
●試運転をやめるときは、運転／停止ボタンを押して運転を停止してください。

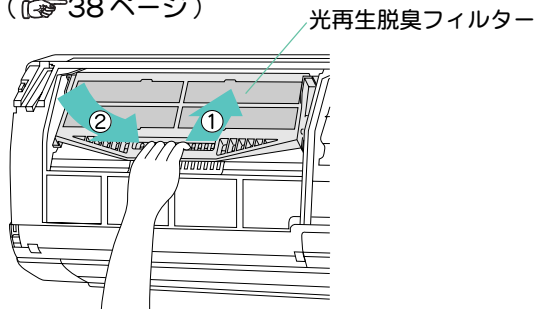
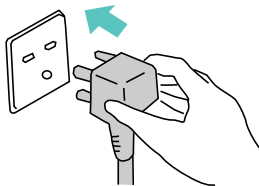
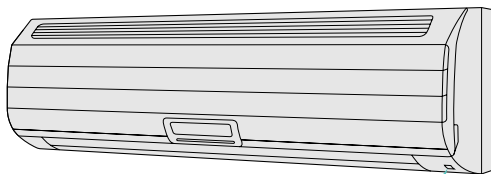
（リモコン裏面）

強制冷房運転について

●冷房運転中にこのボタンを押すと、強制冷房運転となり室温に関係なく冷房運転を行います。（室温調節機能は働きません）
●強制冷房運転は、エアコンを移設する場合など室外ユニットへ冷媒を回収するときに使用します。（ふだんは使用しないでください）

運転前の準備

本体の準備

1 光再生脱臭フィルターを取り付ける
（☞38ページ）

光再生脱臭フィルター

2 電源プラグをコンセントに差し込む

3 主電源スイッチを「入」にする

●主電源スイッチを「入」にしておくと、エアコンを運転していなくても1.3Wの電気を消費しています（待機消費電力）。こまめに主電源スイッチを切ることで、節電することができます。

⚠警告

電源プラグはホコリが付着していないか確認し、ガタツキのないように刃の根元まで確実に差し込んでください。

●ホコリが付着していたり、差し込みが不完全な場合やコンセントがゆるい場合は、火災・感電の原因となります。

電源コードの改造や延長コードの使用、タコ足配線はしないでください。

●火災・感電の原因となります。

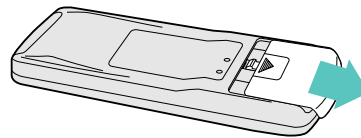
電源プラグの抜き差しや、主電源スイッチの切／入により、エアコンの停止や運転をしないでください。

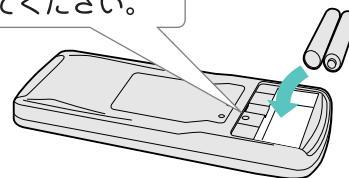
●火災・感電の原因となります。

リモコンの準備

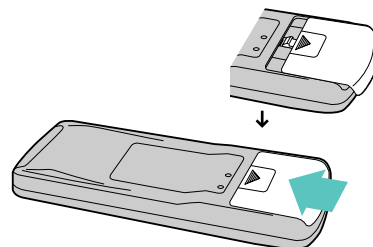
ご使用前にリモコンに電池を入れ、現在時刻（時計）を合わせてください。

電池の入れ方（単四形を２本）

1 裏面の電池ブタを開ける

▼を押しながら矢印の方向に引く。

2 単四形アルカリ乾電池を入れて、ACLボタンを押す

●電池を交換した後の誤動作を避けるため、必ずACLボタンを押してください。

3 電池ブタを閉める

⚠注意

●幼児が誤って電池を飲み込まないようにご注意ください。
●長期間リモコンを使用しない場合は、電池を取り出してください。電池から液が漏れる場合があります。

＊漏れた液が皮膚に付いたり、目や口に入った場合には、ただちに水で洗い流してください。なお症状によっては医師にご相談ください。

お願い

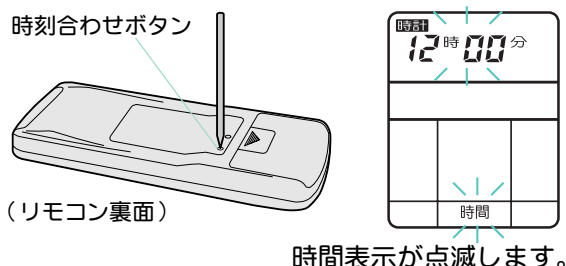
●新旧、異種の電池を混用しないでください。
●ご使用の頻度にもよりますが、電池の寿命は約1年間です。次の場合は、電池を交換しACLボタンをボールペンなどの先の細いもので押してください。
＊エアコンに近づかないと受信しない場合
＊リモコンが正しく動作しない場合
＊リモコンの表示部がうすくなり文字が見えにくくなった場合

現在時刻の合わせ方

1 時刻合わせボタンを押す

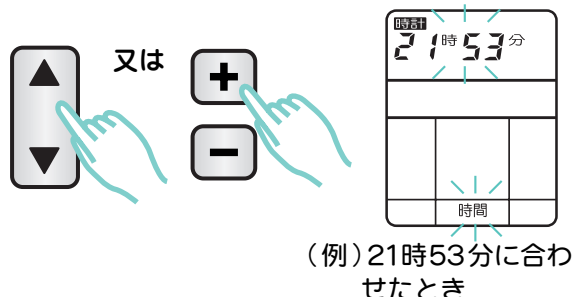
<リモコン表示部>

時計 12時 00分
時間

時間表示が点滅します。

ボールペンなどの先の細いもので、押してください。

2 時間設定ボタンで時刻を合わせる

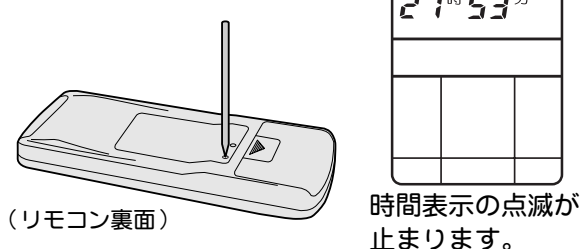
時計 21時 53分
時間

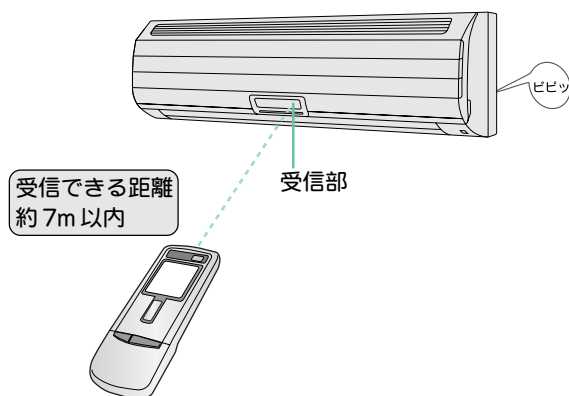
（例）21時53分に合わせたとき

⊞ボタン…時刻を進めるとき
⊟ボタン…時刻を戻すとき

1回押すと1分変わり、押し続けると10分ずつ変わります。

3 時刻合わせボタンをもう一度押す

これで時刻がセットされます。

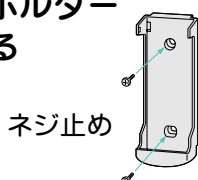
時間表示の点滅が止まります。

リモコンを操作するとき

●リモコンは、受信部に正しく向けて操作してください。
●本体がリモコンからの信号を正しく受けると受信音が鳴ります。
●受信音が鳴らない場合は、再度リモコン操作を行ってください。

お願い

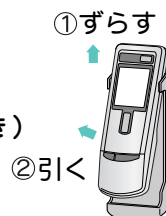
●リモコンと受信部との間にカーテンや壁などがあると信号が届きません。
●受信部に強い光が当たると、エアコンが正しく動作しないことがあります。直射日光をさえぎり、また照明器具を受信部から離してください。
●リモコンは、直射日光や暖房器具などの熱の影響のない所へ置いてください。
●リモコンに強い衝撃を与えたり、水をかけたりしないでください。
●電子式瞬時点灯方式の蛍光灯がある部屋では信号を受け付けない場合があります。その場合は、販売店にご相談ください。
●リモコンの操作で他のエアコンや電気機器が作動したり、他のリモコンでエアコンが作動する場合は、販売店にご相談ください。
●ご使用の頻度にもよりますが、電池の寿命は約1年間です。次の場合は電池を交換しACLボタンを押してください。
＊エアコンに近づかないと受信しない場合
＊リモコンが正しく動作しない場合
＊リモコンの表示部がうすくなり文字が見えにくくなった場合

リモコンホルダーを利用するとき

●柱や壁などにリモコンを取り付けておくことができます。
●リモコンからの信号を本体が正しく受信できる位置にホルダーを取り付ければ、リモコンホルダーに入れたまま操作することができます。

1 リモコンホルダーを固定する

2 リモコンを取り付ける

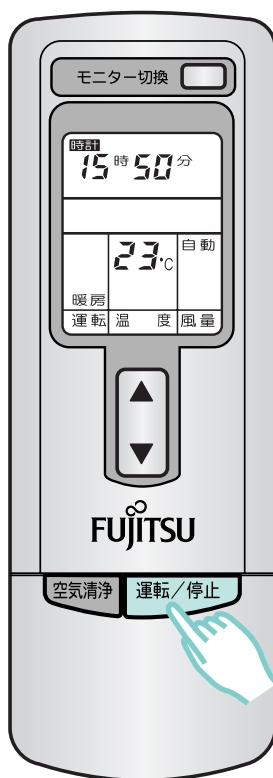
3 リモコンを取り出す

（手元で使うとき）

自動運転

そのときのお部屋の状況に適した運転の種類（暖房・冷房・ドライ）を自動的に設定して運転します。

運転を開始したときは、運転の種類を正確に選ぶため、１分間ごく弱い風で送風を行います。

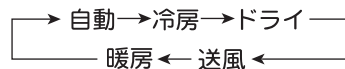
1 運転／停止ボタンを押す

本体表示部の運転ランプ（赤）が点灯します。

（例）「暖房」になっている場合

2 フタを開けて運転切換ボタンで「自動」を選ぶ

押すごとに切り換わります。

→自動→冷房→ドライ→送風→暖房→

送信表示が出て、約３秒後、全体が表示されます。

運転モード表示部のみ表示されます。

自動運転について

運転開始したときの室温に合わせて次のように運転の種類と設定温度を自動的に選び運転を始めます。

室温	運転の種類	（標準温度）
30℃以上	冷房	27℃
27℃〜30℃	冷房	26℃
24℃〜27℃	ドライ	24℃
22℃〜24℃	監視運転	
22℃未満	暖房	23℃

●監視運転になるとごく弱い風で送風運転し、室温が22℃未満に変化すると暖房運転に、24℃以上に変化するとドライ運転に自動的に切り換わります。

●自動運転を停止した後、2時間以内に再度運転した場合は、停止前と同じ運転内容になります。

●外気温度や室温により、自動的に設定温度を変化させ快適性を一定に保つことで暖まり不足やムダな暖めすぎ・冷やしすぎを防止します。

温度を変えたいとき

温度設定ボタンで温度を変える

⊞ボタン…温度を上げるとき
⊟ボタン…温度を下げるとき

自動運転の場合、「標準温度」に対し、2℃高め、2℃低めの範囲で微調節することができます。

（例）2℃高めに設定した場合

約３秒後、全体が表示されます。

風量を変えたいとき

風量切換ボタンで風量を選ぶ

押すごとに切り換わります。

→自動→強風→弱風→微風→静音

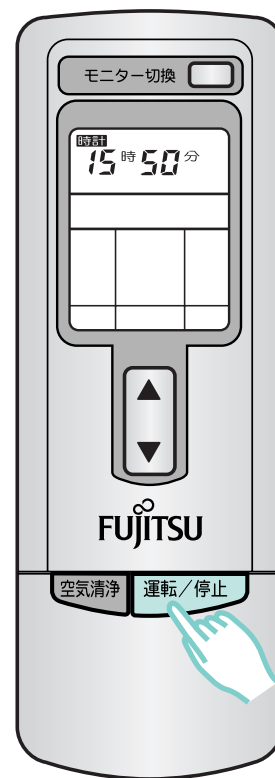
ドライ運転時は、風量の変更はできません。

（例）「強風」を選んだ場合

約３秒後、全体が表示されます。

停止するとき

運転／停止ボタンを押す

本体表示部の運転ランプ（赤）が消えます。

●自動運転の内容がもしお好みに合わないときは、18～19ページの手動運転（暖房・冷房・ドライ・送風運転）をお使いください。
●暖房・冷房・ドライの各運転のしくみやご注意などについては、18～19ページもご参照ください。

自動風量について

暖房時

●運転開始時は強めの風で運転し、お部屋が暖かくなるにつれて弱めの風で運転します。

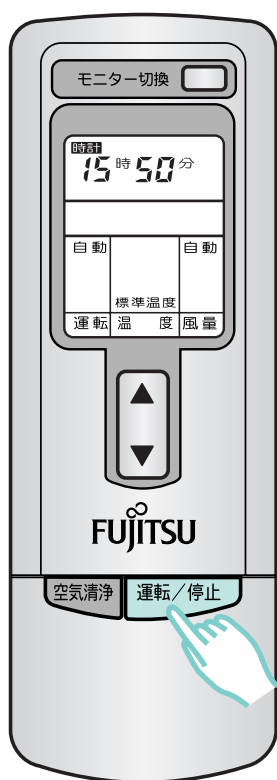
冷房時

●運転開始時は強めの風で運転し、お部屋が涼しくなるにつれて弱めの風で運転します。
●室内ユニットから吹き出されるニオイを軽減するため、室内ファンがときどき停止します。（☞9ページ）

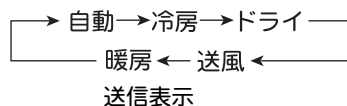
手動運転（暖房・冷房・ドライ・送風運転）

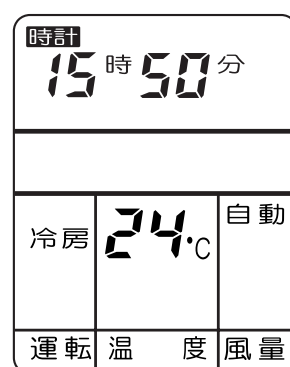
お好みに合わせて運転できます。

1 運転／停止ボタンを押す

本体表示部の運転ランプ（赤）が点灯します。

（例）「自動」になっている場合

2 フタを開けて運転切換ボタンで運転の種類を選ぶ

押すごとに切り換わります。

送信表示が出て、約3秒後、全体が表示されます。

（例）「冷房」を選んだ場合

暖房・冷房・ドライ・送風運転について

暖房運転

- お部屋を暖めるときに使います。
- 暖房運転を開始してから約３～５分間はごく弱い風で運転し（このとき自動開閉パネルは閉じています）、その後設定風量になります。これは、室内ユニットの内部が暖まってから温風を吹き出すようになっているためです。
- 室外温度が低いとき室外ユニットに霜が付いて暖房能力が低下するため、自動的に霜取り運転を行います。霜取り運転中は運転ランプ（赤）が点滅し、暖房運転を一時的に停止します。（☞9ページ）
- おすすめ温度……20～24℃

＊室温より高い温度に設定しないと暖房運転になりません。

冷房運転

- お部屋を涼しくするときに使います。
- おすすめ温度……26～28℃

＊室温より低い温度に設定しないと冷房運転になりません。

送風運転

- お部屋の空気を循環させたいときや、風に当たりたいときなどにお使いください。

温度を変えたいとき

温度設定ボタンで温度を変える

⊞ボタン…温度を上げるとき
⊟ボタン…温度を下げるとき

温度設定の範囲
暖房時……………16～30℃
冷房・ドライ時…18～30℃

送風運転時に温度調節することはできません。

（例）26℃に設定した場合
約３秒後、全体が表示されます。

風量を変えたいとき

風量切換ボタンで風量を選ぶ

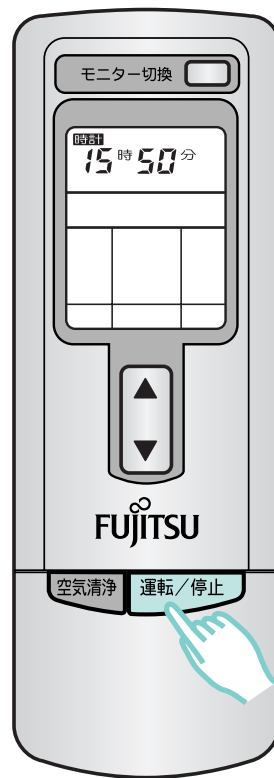
押すごとに切り換わります。

→自動→強風→弱風→微風→静音

ドライ運転時は、風量の変更はできません。

（例）「強風」を選んだ場合
約３秒後、全体が表示されます。

停止するとき

運転／停止ボタンを押す

本体表示部の運転ランプ（赤）が消えます。

ドライ運転

●お部屋の温度をあまり下げずに除湿する運転です。
●除湿優先運転となりますので、室温がお好みの温度まで下がらないことがあります。また、ドライ運転でお部屋を暖めることはできません。
●ドライ運転中は弱い風で運転し、お部屋の湿度調整のために室内ファンがときどき停止します。
＊室温より低い温度に設定しないとドライ運転になりません。

自動風量について

暖房時

●運転開始時は強めの風で運転し、お部屋が暖かくなるにつれて弱めの風で運転します。

冷房時

●運転開始時は強めの風で運転し、お部屋が涼しくなるにつれて弱めの風で運転します。
●室内ユニットから吹き出されるニオイを軽減するため、室内ファンがときどき停止します。（☞9ページ）

送風時

●弱めの風で運転します。

風向調節

●上下の風向調節は、リモコンの風向調節ボタンで行います。（左右の風向調節は手で行います）
●操作は、運転を開始し上下風向板とパワー・ディフューザーが停止してから行ってください。

上下風向の調節をするとき

フタを開けて 風向調節ボタンを押す

●お好みの方向に変更することができます。

送信表示

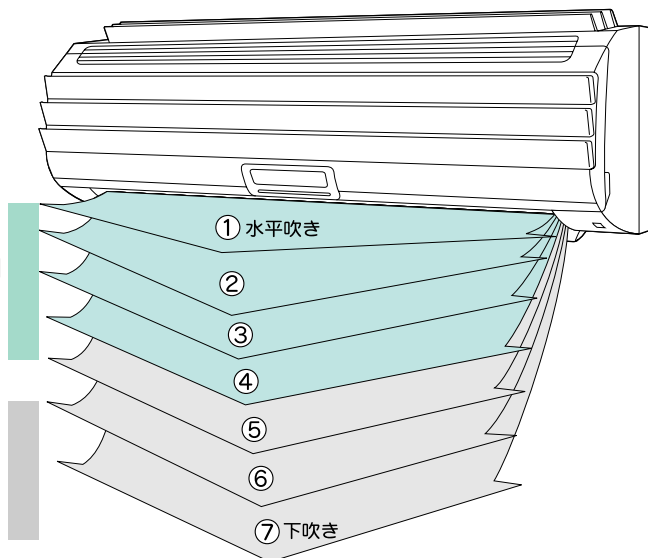
時計 15時 50分
冷房 24℃ 自動
運転 温度 風量
ダッシュ サラサラ スイング 風向

＊リモコン表示部は変わりません。

●風向調節ボタンを押すと次のように切り換わります。

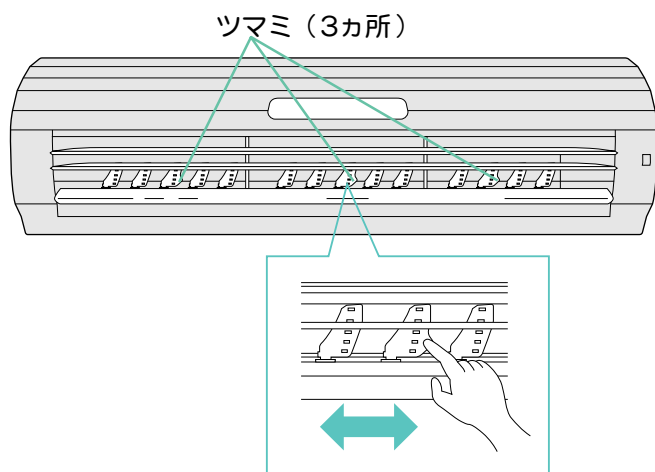
冷房・ドライの範囲
①②③④

暖房の範囲
⑤⑥⑦

① 水平吹き
②
③
④
⑤
⑥
⑦ 下吹き

●暖房・冷房・除湿の効果を高めるため、上図の範囲でお使いください。

左右風向の調節をするとき

ツマミを手で調節する

●お好みの方向に調節することができます。

⚠注意

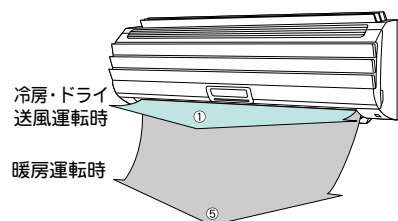
吹出口の奥に指や棒を入れないでください。

●内部でファンが高速回転していますので、ケガの原因となることがあります。

お願い

●上下風向板とパワー・ディフューザーは、必ずリモコンの風向調節ボタンで操作してください。手で無理に動かすと、正しく動かなくなることがあります。そのときは、いったん運転を停止すると、その後正常に戻ります。
●冷房やドライ運転時、上下風向板やパワー・ディフューザーを長時間暖房範囲（⑤～⑦）にしないでください。吹出口付近に露が付き、水滴が落ちることがあります。（暖房範囲で30分以上運転を続けると、自動的に④の風向になります）

風向調節について

●使い始めや、運転モードを変更すると、暖房や冷房など運転の種類に合わせて、右図のような標準風向に自動的に設定されます。
●暖房運転開始時または自動霜取り運転中（☞9ページ）で吹き出す風の温度が低いときは、風が身体に当たらないように一時的に下吹出し⑦となります。
●リモコンの風向調節ボタンを押して、上下風向板が希望の位置となるまでに多少の時間がかかります。その間、風向調節ボタンを押しても風向調節はできません。
●自動運転の監視運転（☞16ページ）中は水平吹出し①となり、風向の調節はできません。

スイング風向

●お部屋のすみずみまで冷風や温風を送りたいときなどにお使いください。
●操作は、運転を開始した後に行ってください。

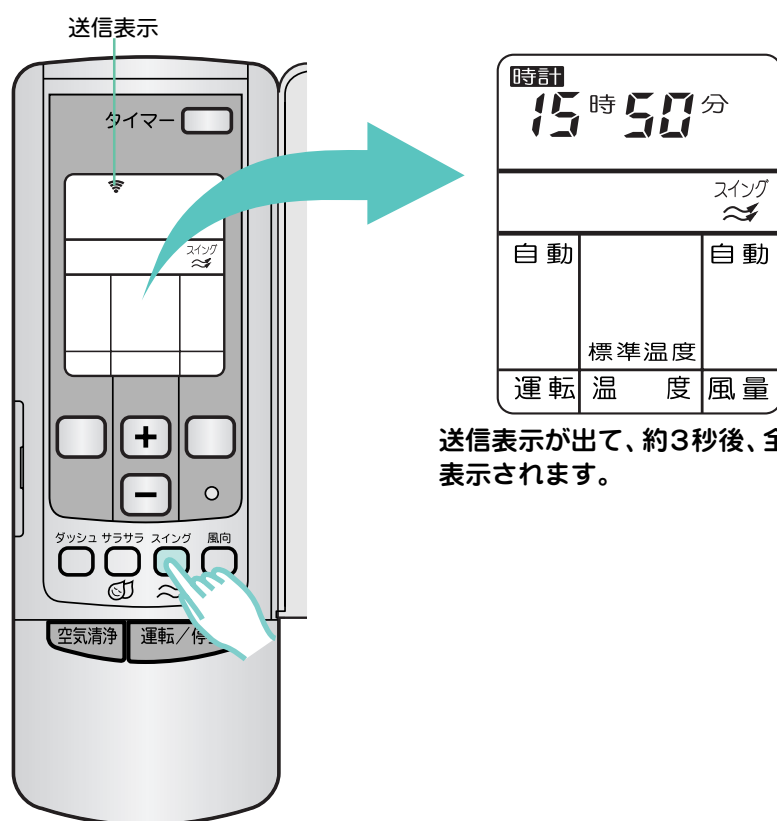
スイング風向をするとき

フタを開けて スイングボタンを押す

リモコン表示部に「スイング」が表示されます。

●上下風向板がスイングします。

送信表示

時計 15時50分
スイング
自動 | 自動
標準温度
運転 | 温　度 | 風量

送信表示が出て、約3秒後、全体が表示されます。

＊スイングマーク（スイング）のみ表示されます。

スイング風向をやめるとき

もう一度、スイングボタンを押す

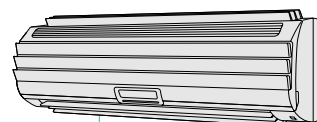
リモコン表示部の「スイング」が消えます。

●スイング設定前の風向に戻ります。

スイング風向について

●現在設定されている風向に対し、上下にスイングします。
●スイングの向きがお好み合わないときは、リモコンの風向調節ボタンでスイングを調節できます。
●冷房やドライ運転中に、下吹出し付近のスイングを30分以上行うと、吹出口への露付きを防止するため、自動的に水平吹出し付近のスイングに変更されます。
●エアコンから風が出ていないときや、ごく弱い風で運転しているときには、スイングが一時的に止まることがあります。

パワー・ディフューザーについて

●暖房運転時、風向を下吹き（⑤、⑥、⑦）でお使いになると、パワー・ディフューザーが自動的に開き、パワフルな風の流れを作るので、足もとを素早く効率的に暖めます。<足もと温風メカ>
●サラサラドライ運転（☞25ページ）や強力空清運転（☞22ページ）時に風向を斜め下向きでお使いになると、パワー・ディフューザーが開きます。

パワー・ディフューザー（足もと温風メカ）

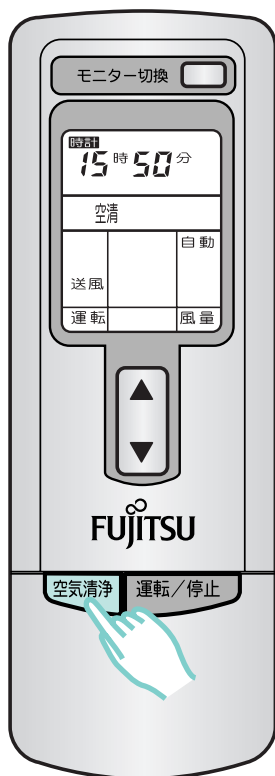
空気清浄運転

●チリ、ホコリ、たばこの煙、花粉などを取り除き、お部屋の空気をきれいにするときにお使いください。
●空気清浄のみの運転と、冷房・ドライ・暖房と合わせた空気清浄運転を行うことができます。

空清のみの運転をするとき

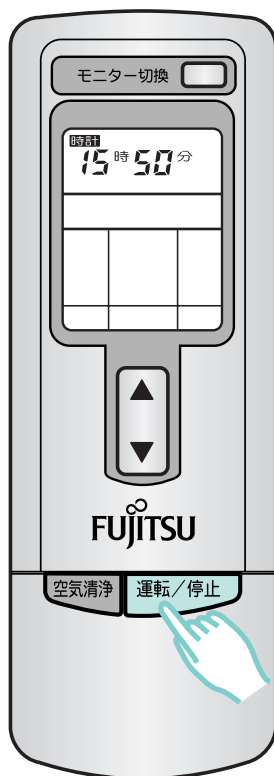
エアコン停止中に空気清浄ボタンを押す

本体表示部の運転ランプ（赤）と空気清浄モニターが点灯します。

●空清運転となります。

（例）「空清」になっている場合

空清運転を停止するとき

運転／停止ボタンを押す

本体表示部の運転ランプ（赤）が消えます。

空清運転の種類を選ぶとき

空気清浄ボタンで空清運転の種類を選ぶ

空気清浄ボタンを押すごとに空清運転の種類が切り換わります。

→空清→強力空清→空清停止→

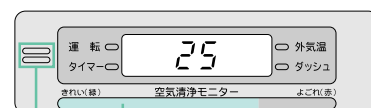
＊「空清」を選んだ場合、自動開閉パネル（☞10ページ）がすべて開き空気清浄運転をします。

＊「強力空清」を選んだ場合、自動開閉パネルをすべて閉じて集じんユニット部に集中的に風を通過させ、より効果的な空気清浄運転をします。

＊「空清停止」を選んだ場合、送風運転となります。
（本体表示部の空気清浄モニターとリモコンの空清表示が消えます）

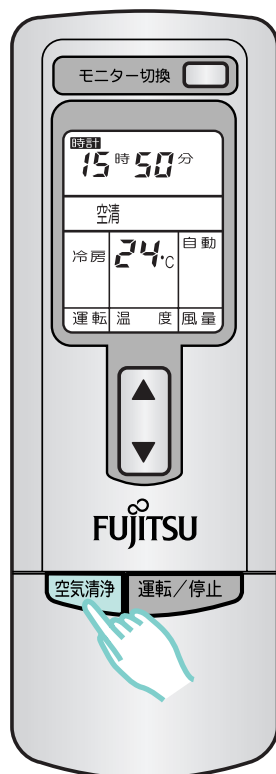
空気清浄モニターについて

●お部屋の空気の汚れ具合を空気清浄モニター用センサーで検知し、空気清浄モニターに表示します。空気がきれいなとき空気清浄モニターはすべて緑色となり、空気が汚れてくるとモニターの赤色部が増えます。
●電源プラグをコンセントに差し込んだ後や主電源スイッチを「切」から「入」にした後に空清運転を開始した場合は、空気清浄モニター用センサーが約3分間準備運転を行います（リモコンで運転を停止してから6時間以上経過した後も同様です）。このとき、センサーは汚れの検出を行わず、空気清浄モニターはすべて緑色となります。汚れの検出は、３分経過後より開始され、お部屋の空気の状態を表示します。

●空清運転時のお部屋の状態やリモコン操作により、空気清浄モニターの赤色部が多く（または少なく）点灯することがあります。
●空気清浄モニターは、モニター切換ボタンの操作で消すことができます（☞28ページ）。就寝時など、表示がまぶしく感じるときにお使いください。
●空気清浄モニター用センサーは、反応するものとしないものがあります。
反応するもの……たばこの煙、芳香剤、スプレー（殺虫剤、化粧品など）、アルコール（飲酒、料理など）、水蒸気（台所、浴室など）など
反応しないもの…ホコリ、花粉、ダニの死がい、カビの胞子など

エアコンと空清を運転するとき

エアコン運転中に空気清浄ボタンを押す

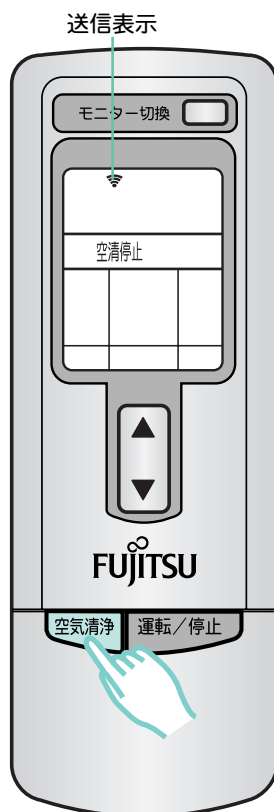
本体表示部の空気清浄モニターが点灯します。

●エアコンと空清の併用運転となります。

（例）「冷房」と「空清」の併用運転とした場合

空清運転のみ停止するとき

空気清浄ボタンで「空清停止」を選ぶ

本体表示部の空気清浄モニターとリモコンの空清表示が消えます。

●空清運転のみ停止します。
（エアコンは運転しています）
空気清浄ボタンを押すごとに空清運転の種類が切り換わります。
→空清→強力空清→空清停止

約３秒後、全体が表示されます。

エアコン運転も同時に停止するとき

運転／停止ボタンを押す

本体表示部の運転ランプ（赤）と空気清浄モニターが消えます。

●次回、運転／停止ボタンで運転を再開した場合は、エアコンと空清の併用運転となります。

＊エアコンと空清の併用運転時の自動開閉パネルの動作について

●エアコン運転中に「空清」を選んだ場合、自動開閉パネルは動かずにエアコンと空清の併用運転となります。

●エアコン運転中に「強力空清」を選んだ場合、自動開閉パネルは閉じる方向に動き、集じんユニットに風を集中させます。ただし、ダッシュ運転中はパネルがすべて開きます。（☞26ページ）

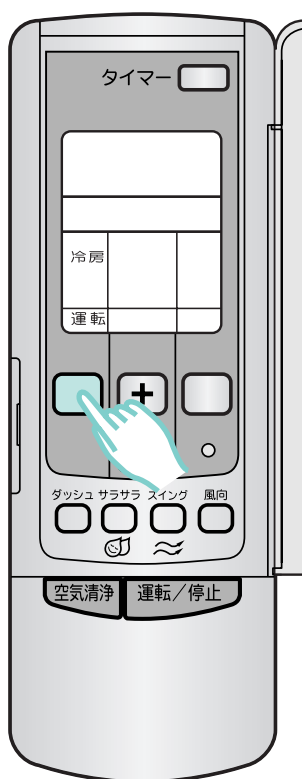
空気清浄運転について

●空清運転時、オゾンがわずかに発生し、ニオイを感じることがあります。
●超音波式加湿器を併用すると、水質によっては白い粉が集じんユニットに付着することがあります。この場合は、お早めに集じんユニットの清掃を行ってください（☞36～37ページ）。
●空清運転では、一酸化炭素やアルコールなどの各種のガスを取り除くことができません。酸素欠乏や窒息を防ぐため運転中はときどき換気を行ってください。
●空清運転中に吸込グリルを開けると、安全装置が働き空清運転を停止します。このとき本体表示部の運転ランプ（赤）とタイマーランプ（緑）が点滅することがあります。リモコンの運転／停止ボタンで運転を停止し、吸込グリルを閉めてから空清運転を開始してください。
●風量切換ボタンで風量を切り換えることができます（☞17ページ）。空清運転は、風量が強風のとき最も効果が得られます。
●風量が自動の場合、空気清浄モニターの出力に応じて風量が３段階で変化します。室内の空気がきれいになると弱い風で空清運転を行います。
●エアコンと空清の併用運転を行うと、エアコンの冷房または暖房能力は若干低下します。
●空気清浄モニターが点滅した場合は、集じんユニットの洗浄時期のお知らせをしています（空清チェック機能☞36ページ）。

サラサラ冷房運転

●除湿効果を高めた快適な冷房運転ができます。
●操作は、運転を開始した後に行ってください。

1 フタを開けて 運転切換ボタンで「冷房」を選ぶ

（すでに冷房運転しているときは、そのまま２へ）

2 サラサラボタンを押す

リモコン表示部にサラサラ表示（サラサラ）が出ます。

●サラサラ冷房運転になります。

送信表示が出て、約３秒後、全体が表示されます。

サラサラ冷房運転をやめるとき

もう一度、サラサラボタンを押す

リモコン表示部のサラサラ表示（サラサラ）が消えます。

●通常の冷房運転に戻ります。

サラサラ冷房運転について

●室温が設定温度に近づくと、室内ユニット内部の除湿用電磁弁が動作し、除湿効果を高めた冷房運転となります。
●急いで湿気を取り除きたいときは、ダッシュ運転でお使いください（☞27ページ）。
●サラサラ冷房運転時は、風量の変更ができません。また、お部屋の湿度調整のために室内ファンがときどき止まることがあります。
●サラサラ冷房運転でよく冷えない場合には、通常の冷房運転に切り換えてお使いください。
●サラサラ冷房運転中、室内ユニットから「カチッ」という音がすることがあります。これは、除湿用電磁弁が動作している音です。また、除湿用電磁弁が動作したとき一時的に水の流れるような音がすることがあります。これは内部の液（冷媒）が流れる音です。
●サラサラ冷房運転をやめて除湿用電磁弁が切り換わる際、室外ユニットの運転がいったん止まることがあります。これは、エアコンが故障するのを防ぐためです。

サラサラドライ運転

●室温をあまり下げずに湿気を取り除く、健康的なドライ運転ができます。
●操作は、運転を開始した後に行ってください。

1 フタを開けて 運転切換ボタンで「ドライ」を選ぶ

（すでにドライ運転しているときは、そのまま２へ）

2 サラサラボタンを押す

リモコン表示部にサラサラ表示（サラサラ）が出ます。

●サラサラドライ運転になります。（前面3枚の自動開閉パネルが閉じます）

送信表示が出て、約3秒後、全体が表示されます。

サラサラドライ運転をやめるとき

もう一度、サラサラボタンを押す

リモコン表示部のサラサラ表示（サラサラ）が消えます。

●通常のドライ運転に戻ります。

サラサラドライ運転について

●圧縮機のパワー（回転数）を下げ、さらに室内ユニット内部の除湿用電磁弁を動作させ、吹き出し温度を下げすぎないドライ運転になります。
●サラサラドライ運転中は、室内ユニットの自動開閉パネル（☞10ページ）の前面３枚が閉じます。これは除湿用熱交換器を通過する風を緩やかにし、除湿量を高めるためです。
●サラサラドライ運転時は、風量の変更ができません。また、お部屋の湿度調整のために室内ファンがときどき停止します。
●サラサラドライ運転中、室内ユニットから「カチッ」という音がすることがあります。これは、除湿用電磁弁が動作している音です。また、除湿用電磁弁が動作したとき一時的に水の流れるような音がすることがあります。これは内部の液（冷媒）が流れる音です。
●サラサラドライ運転をやめて除湿用電磁弁が切り換わる際、室外ユニットの運転がいったん止まることがあります。これは、エアコンが故障するのを防ぐためです。
●室温より低い温度に設定しないとサラサラドライ運転になりません。

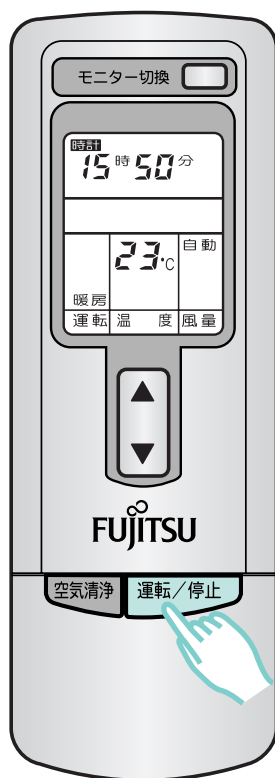
ダッシュ運転

●夏のお風呂あがりや冬の帰宅時など、素早く冷やしたり暖めたいときにお使いください。
●操作は、運転を開始した後に行ってください。

暖房・冷房・ドライ・送風運転中にダッシュ運転をするとき

1 運転／停止ボタンを押す

本体表示部の運転ランプ（赤）が点灯します。

（すでに運転しているときは、そのまま２へ）

（例）「暖房」になっている場合

2 フタを開けて ダッシュボタンを押す

本体表示部のダッシュランプ（黄）が点灯します。

●ダッシュ運転になります。

＊リモコン表示部は変わりません。

ダッシュ運転をやめるとき

もう一度、ダッシュボタンを押す

本体表示部のダッシュランプ（黄）が消えます。

●通常の運転に戻ります。

ただし、以下の状態になった場合はダッシュ運転を自動的に解除します。

・**暖房運転時**
室温が設定温度より2℃高くなった場合

・**冷房・ドライ運転時**
室温が設定温度より1℃低くなった場合、またはダッシュ運転を設定してから30分間経過した場合

・**送風運転時**
ダッシュ運転を設定してから15分間経過した場合

ダッシュ運転について

暖房の場合

●運転開始直後にダッシュボタンを押した場合、15分間「真下吹出し運転」となり、最大パワーでエアコン付近の足もとを暖めます。その後風向角度が自動的に切り換わり、お部屋全体をムラなく暖めます。
●運転を開始してから15分以降にダッシュボタンを押した場合は、真下吹出し運転は行わず、最大パワーでお部屋全体をムラなく暖めます。
●ダッシュ運転中は、パワフルな暖房運転を優先するので、空清運転モードにかかわらず自動開閉パネルはすべて開きます。

冷房・ドライの場合

●風量のパワーが最大になり、設定温度 -1℃までお部屋を一気に冷やします。
●ダッシュ運転中は、パワフルな冷房運転を優先するので、空清運転モードにかかわらず自動開閉パネルはすべて開きます。

送風の場合

●室内ユニットの風量をアップします。
●強力空清運転時には、空気清浄効果を上げるため、自動開閉パネルはすべて閉じます。

●ダッシュ運転中の風向と風量は自動設定されます。風向がお好みに合わないときは、風向調節ボタンで変更することができます。（☞20ページ）
●リモコン裏面の省パワースイッチ（☞29ページ）が「ソフト」側になっていても、ダッシュが優先されます。
●自動運転における監視運転中は、ダッシュボタンを押しても運転状態は変化しません。

●むし暑い夏の帰宅時など、素早く湿気を取り除きます。
●操作は、運転を開始した後に行ってください。

サラサラ冷房・サラサラドライ運転中にダッシュ運転をするとき

1 24～25ページに従って「サラサラ冷房」または「サラサラドライ」運転をする

（すでにサラサラ冷房またはサラサラドライ運転しているときは、そのまま2へ）

（例）「サラサラ冷房」となっている場合

2 ダッシュボタンを押す

本体表示部のダッシュランプ（黄）が点灯します。

●サラサラダッシュ運転になります。

＊リモコン表示部は変わりません。

サラサラダッシュ運転をやめるとき

もう一度、ダッシュボタンを押す

本体表示部のダッシュランプ（黄）とリモコン表示部のサラサラ表示（サラサラ）が消えます。

●通常の冷房またはドライ運転に戻ります。

再びサラサラ冷房またはサラサラドライ運転をする場合は、1の操作を行ってください。

サラサラダッシュ運転について

●サラサラダッシュ運転開始から最低6分間最大パワーで運転し、お部屋の湿気を一気に取り除きます。室温が設定温度に十分達した後は、サラサラ運転（☞24～25ページ）と同じ運転に切り換わります（室温が設定温度に到達しない場合は、最大パワーの運転を1時間まで継続します）。
●サラサラダッシュ運転でお部屋が冷えすぎたり風が強すぎる場合は、サラサラ運転（☞24～25ページ）でお使いください。
●サラサラダッシュ運転時は、風量の変更はできません。また、お部屋の湿度調整のために室内ファンがときどき止まることがあります。
●サラサラダッシュ運転にすると、除湿効果を高めるために上下風向板が水平吹出しに自動設定されます。お好みに合わないときは、風向調節ボタンで変更することができます（☞20ページ）。なお、水平吹き出し以外でお使いの場合、運転状態や室温により（室温が設定温度に十分達している場合など）、自動的に水平吹出しに切り換わることがあります。
●リモコン裏面の省パワースイッチ（☞29ページ）が「ソフト」側になっていても、ダッシュが優先されます。

温度モニター

●室内の温度と屋外の温度が表示できます。運転の種類や温度設定の目安としてください。
●操作は、運転を開始した後に行ってください。

温度モニターを切り換えるとき

運転中に、モニター切換ボタンを押す

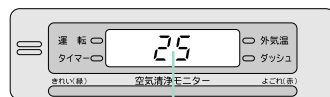
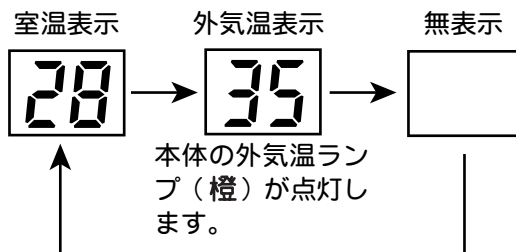
ボタンは、リモコンのフタを確実に閉めた状態で押してください。フタが開いているとタイマーボタン（☞30～33ページ）となります。

送信表示

＊リモコン表示部は変わりません。

●モニター切換ボタンを押すごとに、本体表示部の温度モニターが次のように切り換わります。

→室温表示→外気温表示→無表示

<本体表示部>

●電源プラグ差し込み時や、主電源スイッチを「切」から「入」とした後の最初の運転開始時は、室温表示となります。
●外気温表示を選んだ場合は、10秒間その表示を行なった後、室温表示に戻ります（外気温ランプは消灯します）。
●温度モニターを消しておきたいときは、モニター切換ボタンで無表示を選んでください。空気清浄運転（☞22～23ページ）を行っている場合は、空気清浄モニターも消灯します。就寝時など表示がまぶしく感じるときにお使いください。

温度モニターについて

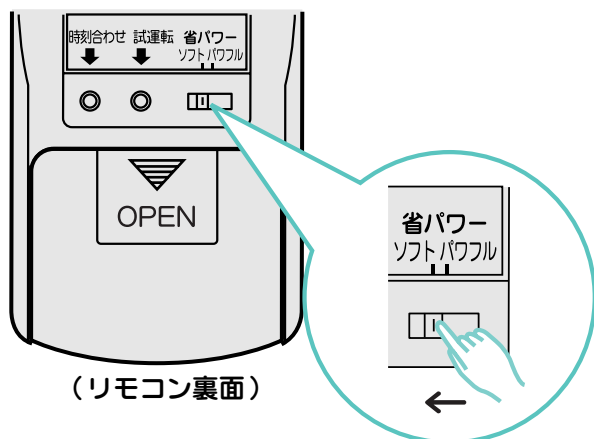
●表示される温度は、室内・室外ユニットの吸込空気温度です。従って、室内・室外ユニットの据付け状態や運転状態などにより、実際の気温と異なる場合があります。目安としてお使いください。
●運転中の外気温度は、室外ユニットから吹き出す風や熱交換器の温度の影響により、冷房・ドライ時は実際の気温よりも高めに、暖房時は低めに表示することがあります（特に室外ユニットの据付けスペースが狭い場合、冷房・ドライ時は外気温度は実際の気温より高く表示されます）。
●運転開始から１分間は、温度検出を行っているため、表示はできません。この場合、--と表示されます。
●表示できる温度は、室内・外とも -9℃～ 45℃です。温度が -9℃未満の場合は-9、45℃を超える場合は45と表示します。
●入タイマー中（☞31ページ）など、エアコンが運転停止状態である場合は、モニター切換ボタンを押しても、温度は表示されません（信号を受け付けません）。

省パワー運転

●エアコンのパワーをパワフル・ソフトの２段階に切り換えることができます。
●ソフト運転は１時間あたりの電気代を低く抑えた運転を行います。電気代節約にお役立てください。

ソフト運転にするとき

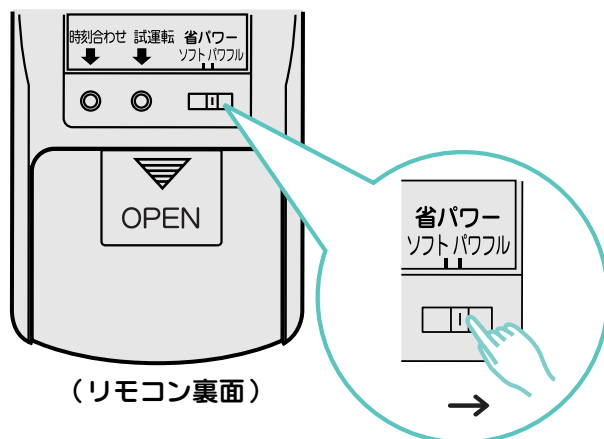
リモコン裏面の省パワースイッチを「ソフト」にする

●ソフト運転になります。

（リモコン裏面）

パワフル運転に戻すとき

リモコン裏面の省パワースイッチを「パワフル」にする

●通常の運転に戻ります。

（リモコン裏面）

省パワー運転について

●パワフル（通常運転）
　パワフルな運転を行います。
　通常はこの設定でお使いください。
●ソフト
　冷房時は１時間あたり約 10 円、暖房時は１時間あたり約 15円以下で運転を行います。（冷・暖房能力はパワフル時の約 70％になります）
＊冷房運転時にソフト運転を行うと、除湿効果を高めた運転を行います。梅雨どきなど、室温をあまり下げずに湿気を取り除きたいときに便利です。

＊ソフト運転では、ムダな暖めすぎや冷やしすぎのないよう、外気温度などにより設定温度を自動的に変化させる経済的な運転を行います。

●ソフト運転でよく暖まらない（よく冷えない）場合には、パワフル運転でお使いください。
●自動運転における監視運転中は、省パワースイッチでソフト運転にしても運転状態は変化しません。
●冷房時のソフト運転中は、除湿効果を高めるために室内ファンが停止することがあります。

切タイマー

設定した時刻に、エアコンの運転を停止します。（例えば23時30分に停止させるとき）

1 運転／停止ボタンを押す

本体表示部の運転ランプ（赤）が点灯します。

（すでに運転しているときは、そのまま２へ）

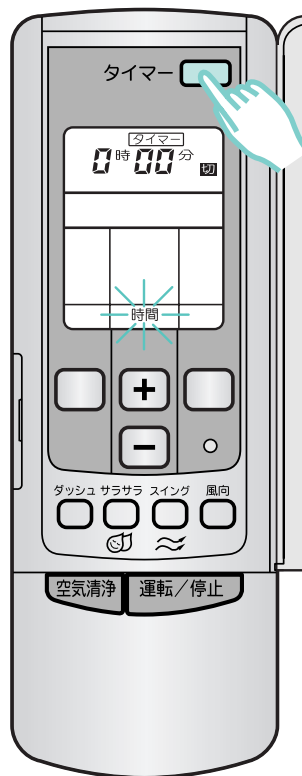
（例）「自動」になっている場合

2 フタを開けて タイマーボタンで 切を選ぶ

本体表示部のタイマーランプ（緑）が点灯します。

●切タイマーが働きます。

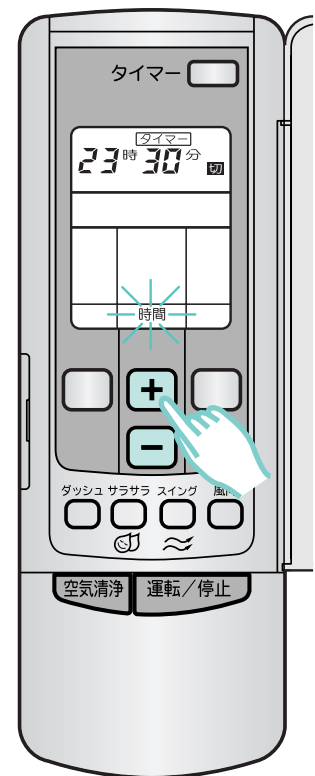
タイマーボタンを押すごとにタイマーの種類が切り換わります。

→おやすみ→切→入→プログラム（切↔入）→取消→

（例）切タイマーを選んだ場合

「おやすみ」や「切↔入」が表示されているときは、切タイマーではありません。

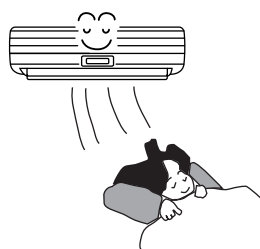
3 時間設定ボタンで タイマー時刻を 設定する

時刻設定は、時間表示が点滅中に行ってください。

⊞ボタン…時刻を進めるとき
⊟ボタン…時刻を戻すとき

（例）23時30分に設定した場合

約３秒後、全体が表示されます。

切タイマーについて

●設定した時刻になると運転を停止します。
●おやすみになるときなどにお使いください。

タイマー時刻を変更するとき

２・３の操作を行う

タイマーを取り消すとき

タイマーボタンで「取消」を選ぶ

●通常の運転に戻ります。

タイマー動作中に運転を停止するとき

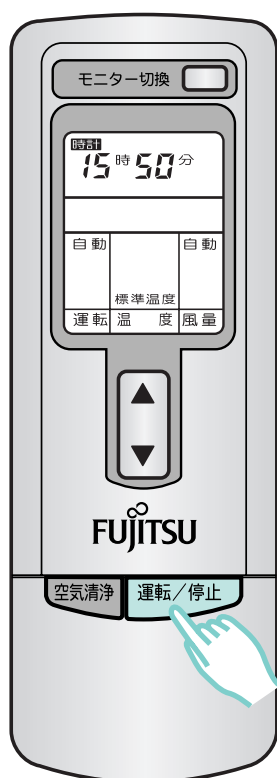
運転／停止ボタンを押す

入タイマー

設定した時刻に、エアコンの運転を開始します。（例えば６時30分に運転を開始させるとき）

1 運転／停止ボタンを押す

本体表示部の運転ランプ（赤）が点灯します。

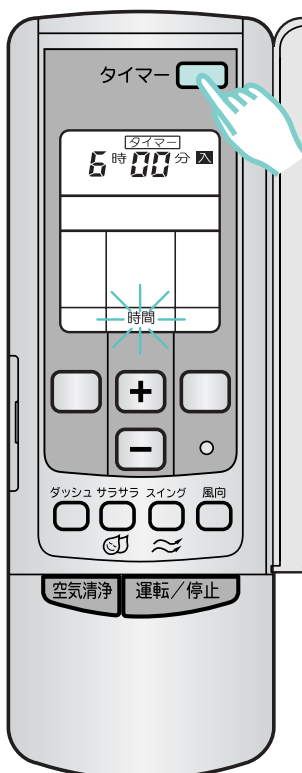
（すでに運転しているときは、そのまま２へ）

（例）「自動」になっている場合

2 フタを開けて タイマーボタンで 入を選ぶ

本体表示部のタイマーランプ（緑）が点灯します。

●入タイマーが働き、運転が停止します。

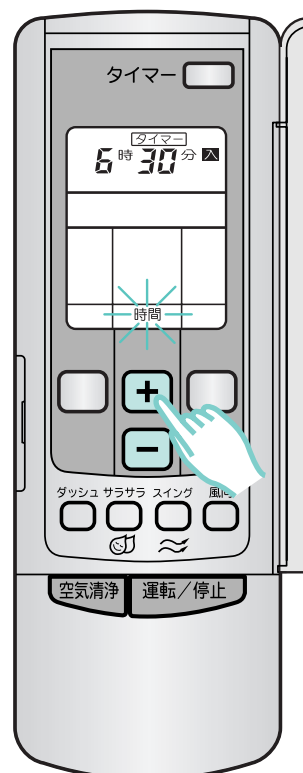
タイマーボタンを押すごとにタイマーの種類が切り換わります。

→おやすみ →切 →入→取消←プログラム（切↔入）←

（例）「入タイマー」を選んだ場合

「切↔入」が表示されているときは、入タイマーではありません。

3 時間設定ボタンで タイマー時刻を 設定する

時刻設定は、時間表示が点滅中に行ってください。

⊞ボタン…時刻を進めるとき
⊟ボタン…時刻を戻すとき

（例）６時30分に設定した場合

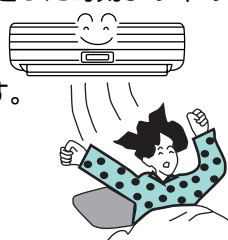
約３秒後、全体が表示されます。

入タイマーについて

●設定した時刻にお部屋が快適な温度になるように、設定した時刻より早めに運転を開始します。

●お目覚めになるときなどにお使いください。

●夏は暑いほど、冬は寒いほど早めに運転を開始します。

「暖房」のときは…………………45～10分前
「冷房」・「ドライ」のときは…20～10分前
「送風」のときは………………設定した時刻

タイマー時刻を変更するとき

２・３の操作を行う

タイマーを取り消すとき

タイマーボタンで「取消」を選ぶ

●通常の運転に戻ります。

タイマー動作中に運転を停止するとき

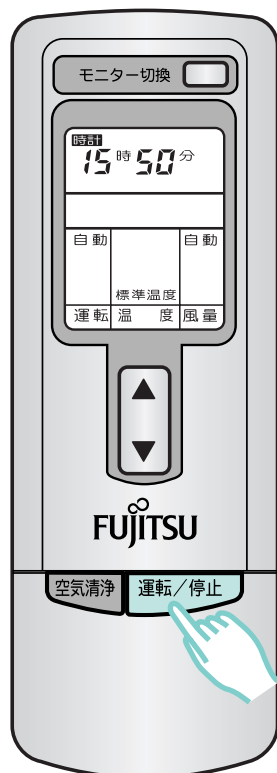
運転／停止ボタンを押す

プログラムタイマー

「切タイマー」と「入タイマー」を組み合わせた運転をするときに設定します。(24時間以内の設定)
(例えば切タイマーを23時30分、入タイマーを6時30分に設定する場合)

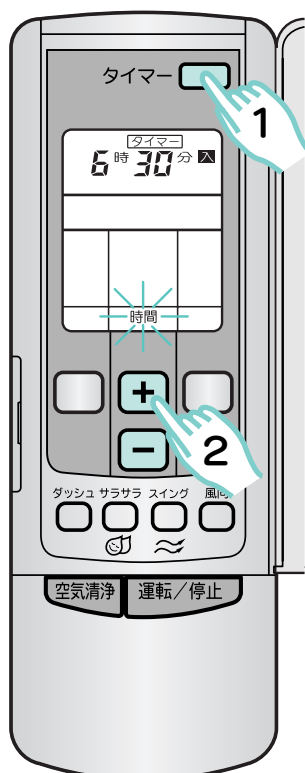
1 運転/停止ボタンを押す

本体表示部の運転ランプ(赤)が点灯します。

(すでに運転しているときは、そのまま2へ)

(例)「自動」になっている場合

2 フタを開けて「切タイマー」と「入タイマー」を設定する

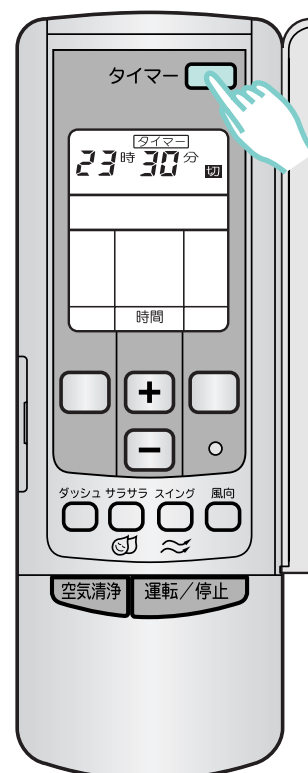
本体表示部のタイマーランプ(緑)が点灯します。

30〜31ページの2.3に従って、お望みのタイマー時刻に合わせてください。

(例)「入タイマー」を6時30分に設定した場合

約3秒後、全体が表示されます。

3 タイマーボタンで「切→入」または、「切←入」を選ぶ

「切タイマー」と「入タイマー」の時刻を交互に表示した後、先に動作するタイマーの時刻表示になります。

●プログラムタイマーが働きます。(入タイマーが先に動作する場合は、運転が停止します)

(例)切タイマーを23時30分、入タイマーを6時30分に設定した場合

約3秒後、全体が表示されます。

プログラムタイマーについて

●「切タイマー」と「入タイマー」を組み合わせた運転を1回だけ行います。(切→入または入→切のどちらかを1回)
●切タイマーと入タイマーの設定時刻のうち、現在時刻に近いタイマーから先に動作します。動作する順序は、リモコン表示部に矢印で表示されます。(切→入または切←入)
●「おやすみタイマー」と「入タイマー」を組み合わせることはできません。
●現在時刻から24時間を超えた時刻でのプログラムタイマー設定はできません。

タイマー時刻を変更するとき

30〜31ページの2・3に従って変更した後、3の操作を行う

タイマーを取り消すとき

タイマーボタンで「取消」を選ぶ

●通常の運転に戻ります。

タイマー動作中に運転を停止するとき

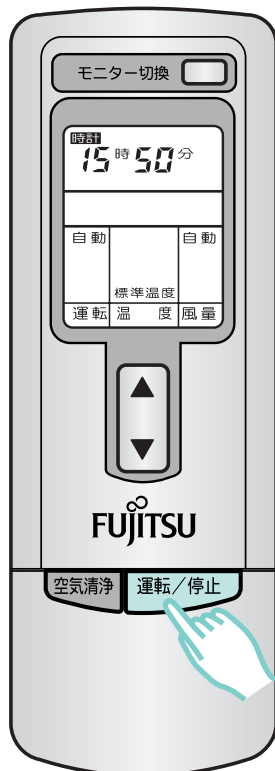
運転/停止ボタンを押す

おやすみタイマー

設定した時間が経過すると、エアコンの運転を停止します。（例えば２時間00分後に停止させるとき）

1 運転／停止ボタンを押す

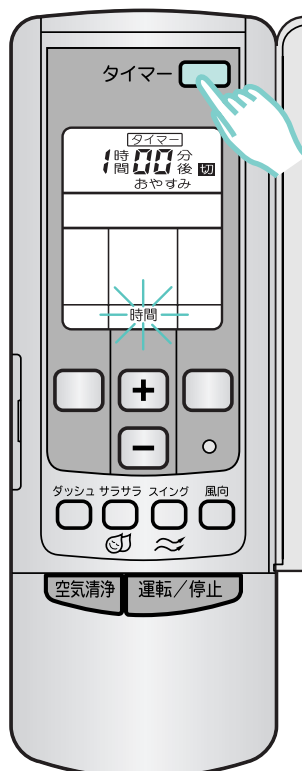
本体表示部の運転ランプ（赤）が点灯します。

（すでに運転しているときは、そのまま２へ）

（例）「自動」になっている場合

2 フタを開けて タイマーボタンで「おやすみ」を選ぶ

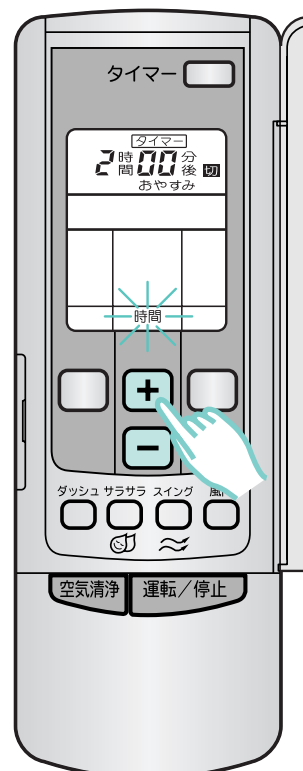
本体表示部のタイマーランプ（緑）が点灯します。

●おやすみタイマーが働きます。
タイマーボタンを押すごとにタイマーの種類が切り換わります。

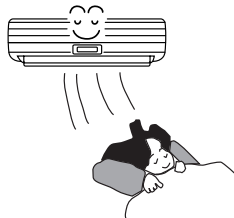
→おやすみ→切→入→
取消←プログラム（切←→入）←

（例）おやすみタイマーを選んだ場合

3 時間設定ボタンでタイマー時間を設定する

時間設定は、時間表示が点滅中に行ってください。

⊞ボタン…時間を進めるとき
⊟ボタン…時間を戻すとき

（例）２時間後に設定した場合
約３秒後、全体が表示されます。

おやすみタイマーについて

●設定した時間が経過すると、運転を停止します。
●おやすみになるときなどにお使いください。
●タイマー時間は、5分後～9時間55分後の間で変更することができます。
●自動運転による冷房時におやすみタイマーにすると、冷やしすぎないように、弱めの冷房運転を行います。

タイマー時間を変更するとき

２・３の操作を行う

タイマーを取り消すとき

タイマーボタンで「取消」を選ぶ
●通常の運転に戻ります。

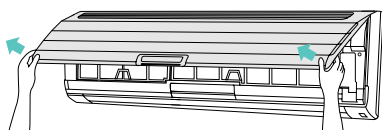
タイマー動作中に運転を停止するとき

運転／停止ボタンを押す

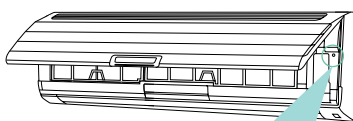
リモコンが使えないとき（応急運転）

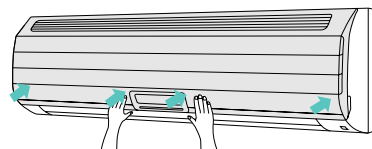
電池が切れたときや、リモコンをなくしたときには、応急的に運転することができます。

1 吸込グリルを開ける

吸込グリルの下部両端に指を掛け、引っかかるところまで手前に引きます。手を離しても、吸込グリルが開いたままとなります。

2 空清リセット・強制自動ボタンを押す

本体表示部の運転ランプ（赤）が点灯します。

「自動運転」（☞16～17ページ）と同じ内容の運転となります。風量は「自動」、風向は「標準」、温度は「標準温度」で運転されます。

3 吸込グリルを閉める

吸込グリルの下側の両端と本体表示部の両端の４ヵ所を押して閉めます。

吸込グリルを開けたまま運転しないでください。故障の原因となります。

停止するとき

もう一度、空清リセット・強制自動ボタンを押す

運転が停止し、本体表示部の運転ランプ（赤）が消えます。

お知らせ

●空清リセット・強制自動ボタンを１回押しても運転が開始されない場合は、空清チェック機能（☞36ページ）が働いています（このときは、空清リセットボタンとなっています）。運転を開始するときは、もう１回ボタンを押してください。

運転を停止させ吸込グリルを閉じたとき、自動開閉パネルが開いたままの状態となることがあります。この場合は、吸込グリルを閉めた状態で主電源スイッチをいったん「切」にした後「入」にすれば、正常な状態に戻ります。

HA 端子について

室内ユニットに内蔵された「HA端子」と「JEMA標準HA端子 - A」（H JEM A Aマーク）対応のテレコントローラーを接続することにより、外出先のプッシュホンからエアコンのON・OFFができます。

＊詳しくはお買上げの販売店にご相談ください。

お手入れのしかた

●こまめなお手入れがエアコンを長持ちさせ、冷・暖房効果を高めます。
●お手入れの前には、必ずリモコンで運転を停止し、電源プラグを抜くか主電源スイッチを「切」にしてください。

⚠注意

掃除をするときは、必ず運転を停止し、電源プラグを抜いてください。

●内部でファンが高速回転していますので、ケガの原因となることがあります。

吸込グリルを開けたときに内部の金属部（熱交換器）に触らないでください。

●ケガの原因となることがあります。

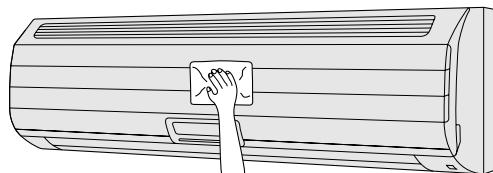
掃除の際、不安定な台に乗らないでください。

●転倒などによるケガの原因となることがあります。

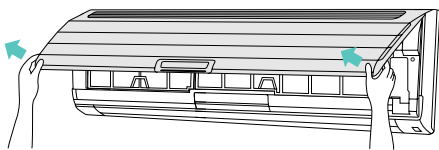
吸込グリルをはずさないでください。

●吸込グリルをはずすことはできません。無理にはずすと、故障や落下によるケガの原因となることがあります。

吸込グリルの清掃

●ホコリを掃除機で吸い取り、水かぬるま湯でふき、その後柔らかい布でからぶきをする。

エアフィルターの清掃

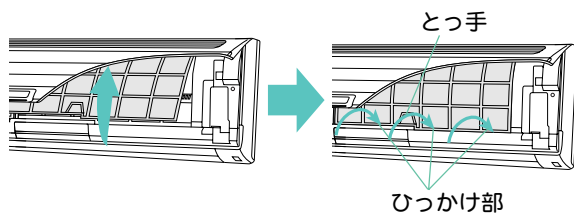
1 吸込グリルを開けて、エアフィルターを取りはずす

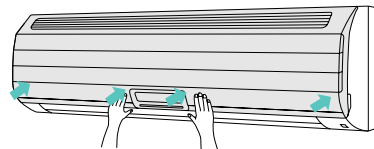
①グリルの下部両端に手を掛け、引っかかるところまで手前へ引く。（手を離してもグリルは開いたままとなります）

②エアフィルターのとっ手を持って持ち上げ、下部のひっかけ部（右側：3ヵ所、左側：2ヵ所）をはずし、引き出す。

2 ホコリを掃除機で吸い取るか、水洗いする

●水洗いの後は日陰でよく乾かす。

3 エアフィルターを取り付け、吸込グリルを閉める

①本体の奥に止まるところまで差し込み、下部のひっかけ部をパネルの穴にハメ込む。

②グリル下側の4ヵ所を押して、吸込グリルを閉める。（グリルを開けたまま運転しないでください。故障の原因となります）

●エアフィルターにホコリがたまると風量が減り、能力が低下したり運転音が大きくなったりします。
●シーズン始めには必ず清掃し、使用期間中は2週間を目安に清掃してください。

吸込グリルを開閉したとき、自動開閉パネルが開いたままの状態となることがあります。この場合は、吸込グリルを閉めた状態で主電源スイッチをいったん「切」にした後「入」にすれば、正常な状態に戻ります。

お手入れのしかた（つづき）

集じんユニットの清掃

空清チェック機能について

●本体表示部の空気清浄モニターを点滅させて、集じんユニットのお手入れの時期をお知らせする機能です。
・空気清浄モニターの点滅が遅い（約４秒間に１回）場合
約400時間、空清運転をすると点滅します。
集じんユニットのお手入れをおすすめしています。なるべく早くお手入れしてください。
・空気清浄モニターの点滅が早い（約２秒間に１回）場合
約500時間、空清運転をすると点滅します。
空清運転を停止しています。集じんユニットのお手入れをしてください。

●6ヵ月ごとを目安にしてください。
●「シャー・ジー・パチパチ」音がしたときは、空気清浄モニターが点滅していなくてもお手入れの時期です。

準備
●リモコンで運転を停止する。
●空清チェック機能が働いている場合は、吸込グリルを開けて空清リセット・強制自動ボタンを押す。
●電源プラグを抜く、または主電源スイッチを「切」にする。

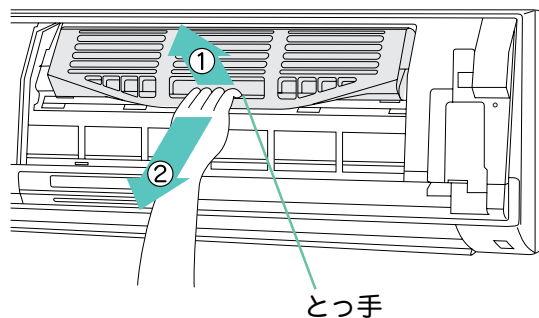
1 吸込グリルを開ける

エアフィルターの清掃 の項を参照。
（☞35ページ）

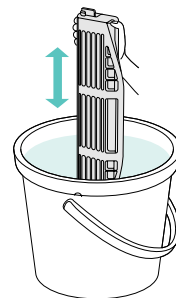
2 右側のエアフィルターを取りはずす

エアフィルターの清掃 の項を参照。
（☞35ページ）

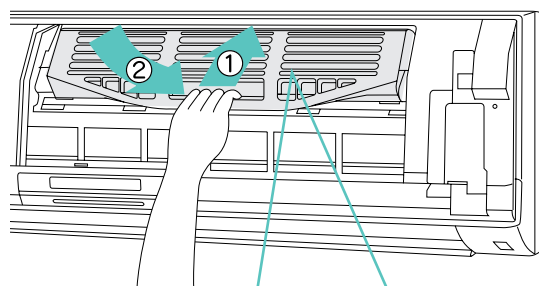
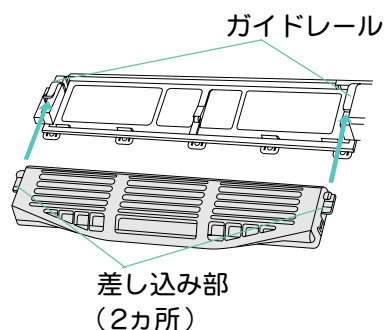
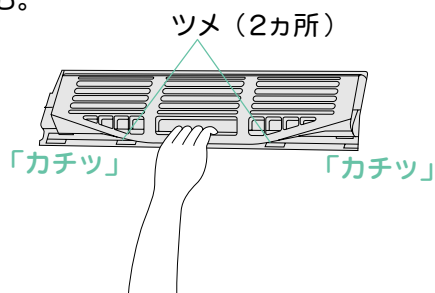
3 集じんユニットを取りはずす

（下の図は説明のため吸込グリルがついていません。
実際は、吸込グリルをはずすことはできません。）

集じんユニットのとっ手を持ち、①の方向（上方）に持ち上げ、②の方向に引き出す。

4 水洗いをして乾かす

①40～45℃のお湯に約10～15分浸け置きする。汚れのひどいときは、洗濯用合成洗剤（弱アルカリ性または中性）を標準使用量の約15倍に濃くしたお湯に浸け置きする。
②上下、左右にゆする。またはスポンジで表面を軽くこする。
③流水ですすぐ
④集じんユニットを振って水を切る。（汚れが落ちにくいときは、①～④の手順を２～３回繰り返してください）
⑤日陰で十分に乾かす。

●**洗濯用合成洗剤（弱アルカリ性または中性）以外は使用しないでください。**
●集じんユニットを分解しないでください。
●集じんユニットを浸け置きするときに熱湯を使用しないでください。
●たわしなど固いものでこすらないでください。
●集じんユニットの内部にブラシなどを入れて洗わないでください。内部に張ってある細い線が断線するなど、故障の原因になることがあります。
●ドライヤーなどの熱風で乾かさないでください。熱により変形する恐れがあります。
●洗浄後は、完全に乾いてから取り付けてください。濡れたまま取り付けて空清運転をすると、運転ランプ（赤）とタイマーランプ（緑）が点滅し、空清運転が停止する場合があります。

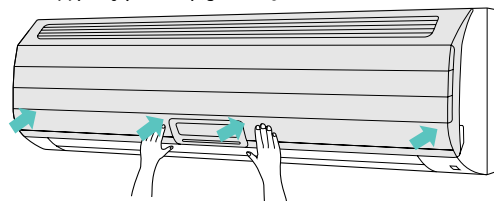
5 集じんユニットを取り付ける

（下の図は説明のため吸込グリルがついていません。
実際は、吸込グリルをはずすことはできません。）

①集じんユニットの両端の差し込み部をガイドレールに差し込む。

②奥まで差し込んで、集じんユニット下部のツメ（2ヵ所）を「カチッ」と音がするまではめ込む。

●取り付けは、集じんユニットが完全に乾燥していることを確認してから行ってください。
●集じんユニットを取り付けた後、とっ手の両側のツメがフレームに確実に入っているか確認してください。装着が不完全な場合、運転ランプ（赤）とタイマーランプ（緑）が点滅し、空清運転が停止することがあります。

6 エアフィルターを取り付ける

エアフィルターの清掃 の項を参照。
（☞35 ページ）

7 吸込グリルを閉める

吸込グリルの下側の両端と本体表示部の両端の4ヵ所を押して閉める。

吸込グリルが確実に閉まっているか確認してください。

⚠注意

清掃のときなど、集じんユニットの取り付けは確実に

●取り付けに不備があると、集じんユニットが落下し、ケガの原因となることがあります。

●集じんユニットの清掃をした後、空清運転をしたときに運転ランプ（赤）とタイマーランプ（緑）が点滅した場合、集じんユニットが濡れていないか、または吸込グリルが確実に閉まっているか確認してください。完全に乾いていて、グリルが確実に閉まっていてもランプが点滅している場合は、集じんユニットに傷が付いていると考えられます。この場合、集じんユニットの交換が必要となりますので販売店にご相談ください。

お手入れのしかた（つづき）

光再生脱臭フィルターの取り付け

●付属品の光再生脱臭フィルターを以下の手順で取り付けてください。

光再生脱臭フィルターについて

●光再生脱臭フィルターは、天日干しをすることによって、脱臭効果が再生します。（6ヵ月を目安にしてください）
●長期間のご使用で脱臭フィルターの汚れがひどい場合は、脱臭性能が低下します。3年程度を目安に交換をおすすめします。交換をするときは、別売の交換用光再生脱臭フィルター（形名APS-05A形）をお買い求めください。

準備
●リモコンで運転を停止する。
●電源プラグを抜く、または主電源スイッチを「切」にする。

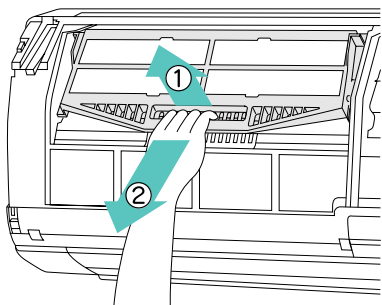
1 吸込グリルを開ける

エアフィルターの清掃 の項を参照。
（☞35ページ）

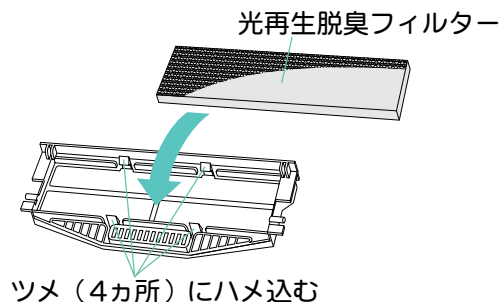
2 左側のエアフィルターを取りはずす

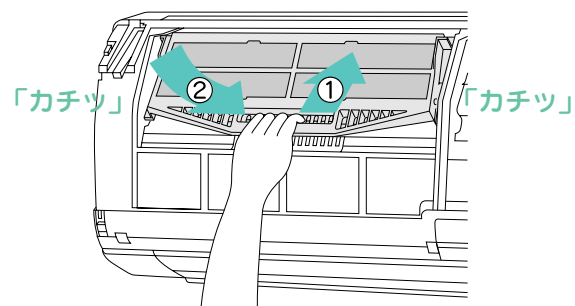
エアフィルターの清掃 の項を参照。
（☞35ページ）

3 光再生脱臭フィルター枠を取りはずす

（下の図は説明のため吸込グリルがついていません。実際は、吸込グリルをはずすことはできません。）

●光再生脱臭フィルター枠のとっ手を持ち、①の方向（上方）に持ち上げ、②の方向に引き出す。
●交換するときは、中の光再生脱臭フィルターを取り出す。

4 光再生脱臭フィルターを取り付ける

●付属品袋の中の光再生脱臭フィルターを取り出し、光再生脱臭フィルター枠に取り付ける。

5 光再生脱臭フィルター枠を取り付ける

（下の図は説明のため吸込グリルがついていません。実際は、吸込グリルをはずすことはできません。）

●光再生脱臭フィルター枠のとっ手を持ち、①の方向に差し込み、奥まで入ったら②の方向に「カチッ」と音がするまで押す。

6 左側のエアフィルターを取り付け、吸込グリルを閉める

エアフィルターの清掃 の項を参照。
（☞35ページ）

シーズン前・後のお手入れ

光再生脱臭フィルターのお手入れ

集じんユニットと同時にお手入れしてください。
（6ヵ月を目安にしてください）

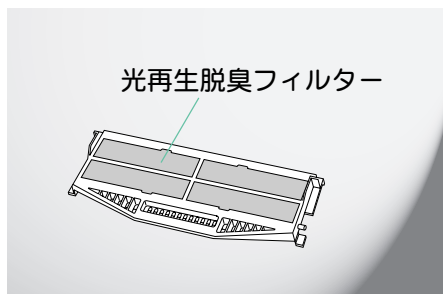
準備
- リモコンで運転を停止する。
- 電源プラグを抜く、または主電源スイッチを「切」にする。

1 光再生脱臭フィルター枠を取りはずす

光再生脱臭フィルターの取り付け の項を参照。

- ホコリなどが付着していた場合、掃除機で吸い取ってください。

2 光再生脱臭フィルターを天日干しする

- 脱臭フィルター枠に入れたまま天日干ししてください。
- 直射日光の下で6時間を目安としてください。
- 水洗いは絶対にしないでください。

3 光再生脱臭フィルター枠を取り付ける

光再生脱臭フィルターの取り付け の項を参照。

⚠注意

お手入れのときなど、光再生脱臭フィルター枠の取り付けは確実に

- 取り付けに不備があると、光再生脱臭フィルター枠が落下し、ケガの原因となることがあります。

お手入れは、エアコンの運転を停止してから行ってください。

1ヵ月以上使わないときは

- 晴れた日に半日ほど送風運転して内部をよく乾燥させてください。（☞18ページ）
- 運転を停止し、主電源スイッチ（☞14ページ）を「切」にし、電源プラグを抜いてください。
- リモコンから乾電池を取り出してください。

⚠注意

長期間ご使用にならない場合は、安全のため電源プラグを抜いてください。

- ホコリがたまって、発煙・発火の原因になることがあります。

点検整備は

- ご使用状態によって変わりますが、エアコンを2～3シーズンご使用になりますと、内部が汚れ、性能が低下することがあります。通常のお手入れとは別に点検整備をおすすめします。点検整備はお買上げの販売店にご相談ください。なお、この場合は実費が必要になります。

本体の清掃

- 水かぬるま湯でふき、その後柔らかい布でからぶきしてください。

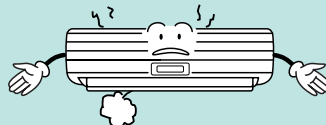
40℃以上の温水は使わないでください。

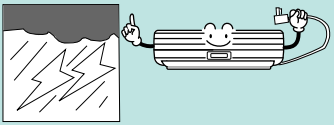
変形・変色することがあります。

揮発性・可燃性のものは使わないでください。

ベンジン、シンナー、みがき粉などでふいたり液状殺虫剤などをかけないでください。
製品を傷めることがあります。

⚠注意

室内ユニット内部の清掃はお買上げの販売店または当社サービス窓口にご相談ください。

- 室内ユニット内部の清掃は専門の技術を必要とします。市販の洗浄剤などをご使用になると、場合によってはプラスチック部品が破損したり、排水経路の詰まりなどに至ることがあり、水漏れなどの故障や感電の原因となる場合があります。

アースの確認

- アース線が断線していたり、はずれていないか確認してください。

修理を依頼される前に

次のような状態は、故障ではありません。

こんなとき	説明	参照ページ
すぐ運転しない	●運転停止後すぐに再運転した場合や、電源プラグをコンセントに差し込んだ場合、室外ユニットは約3分間運転しません。これはエアコンが故障するのを防ぐためです。	——
風が弱い・止まる	●暖房運転を開始したとき、エアコン内部が温まるまでごく弱い風で運転します。 ●暖房運転のとき室温が設定温度より高くなると、室外ユニットが停止するとともに室内ユニットはごく弱い風で運転します。お部屋を暖めたいときは、設定温度を室温より高くしてください。	——
	●暖房時の自動霜取り運転のとき、4～15分程度風が止まります。（このときは運転ランプが点滅します）	9
	●ドライ運転やサラサラ運転のときは、ごく弱い風で運転し、お部屋の湿度調整のために室内ファンが止まることがあります。	19、24～25
	●ソフト運転を行うと、弱めの風で運転します。また、冷房運転時にソフト運転を行うと、室内ファンが止まることがあります。	29
	●冷房やドライの自動風量時、室内ファンが止まることがあります。これは室内ユニット内部に吸着したいろいろなニオイが、風で出てくるのを軽減するためです。	9
	●自動運転のとき、監視運転になるとごく弱い風で運転します。	16
音がする	●運転中や停止直後などに、水の流れるような音や、運転開始直後2～3分間運転音が大きくなることがあります。これは、内部の液（冷媒）が流れる音です。 ●運転中に、エアコンから「ピシッ」という小さな音がすることがあります。これは温度変化により、吸込グリルなどがわずかに伸縮するために発生する音です。	——
	●暖房運転中、「ブシュー」という音がすることがあります。これは自動霜取り運転が働いたときにする音です。	9
	●サラサラダッシュ、サラサラ冷房、サラサラドライ運転中に室内ユニットから「カチッ」という音がすることがあります。これは室内ユニット内部の除湿用電磁弁が動作している音です。 ●サラサラダッシュ、サラサラ冷房、サラサラドライで除湿用電磁弁が動作した場合、一時的に水の流れるような音がすることがあります。これは内部の（冷媒）が流れる音です。	24～25、27
	●シャー音、パチパチ音、ジー音は、集じんユニットが汚れてきたときの音です。お手入れをしてください。	36～37
霧が出る・湯気が出る	●冷房またはドライ運転のとき、室内ユニットの吹出口から霧（煙のように見える）が出たようになることがあります。これは、吹き出した冷風でお部屋の空気が冷やされて霧状に見えるためです。	——
	●暖房運転中、室外ユニットのファンが停止し、湯気が出ることがあります。これは自動霜取り運転を行っているためです。	9
ニオイがする	●室内ユニットからニオイが発生することがあります。これは、室内ユニット内部に吸着したお部屋・家具のニオイ、タバコのニオイなどが出てくるためです。	——
	●空気清浄運転時、オゾンがわずかに発生し、臭いを感じる場合があります。	——

次のような状態は、故障ではありません。

こんなとき	説明	参照ページ
室外ユニットから水が出る	●暖房運転のときは、室外ユニットから自動霜取り運転で溶けた水が出ます。	9
暖房運転を停止しても、室外ユニットが停止しない	●暖房運転を止めたとき室外ユニットに霜がついていると、自動的に除霜運転を行います。(OFF時除霜） このとき、室内ユニットの運転ランプが点滅し、室外ユニットだけが数分間運転してから止まります。	9
空気清浄モニター（緑）が遅い点滅をする。	●約400時間空気清浄運転をしたときに点滅します。 運転を停止し、電源プラグを抜いて、集じんユニット、脱臭フィルターのお手入れをしてください。	36～39
空気清浄モニター（緑）が早い点滅をする。	●約500時間空気清浄運転をしたときに点滅します。 この点滅をしているときは空気清浄運転を停止しています。 運転を停止し、電源プラグを抜いて、集じんユニット、脱臭フィルターのお手入れをしてください。	36～39
停電したときなど	●運転中に停電したときは、すべての運転が停止します。 （タイマーの設定も取り消されます） 運転を再開する場合は、再度リモコンで運転し直してください。 ●運転中に停電などにより、いったん電源が切れますと、運転ランプ（赤）とタイマーランプ（緑）が交互に点灯します。 リモコンで運転を開始しますと、交互点灯は止まります。 ●万一、運転中にカミナリ、カー無線などにより誤動作したときは、電源プラグをコンセントから抜き、再度差し込んだ後にリモコンで運転させてください。	——

空気清浄モニターの点灯状態について

モニターの表示	説明
空気が汚れていない、 または汚したつもりがないのに 汚れ（赤）表示が多い	●空気清浄モニター用センサーは、芳香剤・スプレー（殺虫剤・化粧品など）・アルコール・水蒸気などにも反応します。 ●ドアの開閉や冷暖房開始時などの急激な温度変化・湿度変化・風量変化に対しても空気清浄モニター用センサーが反応することがあります。（しばらくすると通常の汚れ表示となります） ●加湿器を併用している場合、空気清浄モニター用センサーが室内の湿気に反応することがあります。
空気が汚れているはずなのに 汚れ（赤）表示が少ない	●長時間空気が汚れた状態が続くと、その状態をきれいな空気であると判断することがあります。 そのときは、運転を停止し、お部屋の換気をして主電源スイッチをいったん「切」にした後「入」としてから再び空清運転を開始してください。
空気の汚れは変わっていないのに 汚れ（赤）表示が多くなったり 少なくなったりする	●リモコンで風量、風向を変更した後に汚れ表示が変化することがあります。（しばらくすると通常の汚れ表示となります） ●空気清浄モニター用センサーが空気の汚れを定期的に再確認するときに汚れ表示が変化することがあります。（しばらくすると通常の汚れ表示となります）
空気の汚れが変わっているのに 汚れ（赤）表示が変わらない	●電源プラグをコンセントに差し込んだ後や主電源スイッチを「切」から「入」にした後に空清運転を開始した場合は、空気清浄モニター用センサーが約3分間準備運転を行うため、汚れの検出を行いません。このとき空気清浄モニターはすべて緑色となります（☞ 22ページ）。 ●暖房の自動霜取り運転時、空気清浄モニター用センサーの周囲の温度、湿度が安定しないため、センサーは汚れの検出を中断しています。暖房運転が開始して5分後からセンサーは汚れの検出を行います。 ●リモコンで運転切り換えをした後にセンサーは汚れの検出を一時中断する場合があります。

修理を依頼される前に（つづき）

次のようなときは、もう一度確認してください。

こんなとき	確認してください	参照ページ
運転しない・途中で止まる	●タイマーが働いていませんか。	30～33
	●主電源スイッチが「切」になっていませんか。	14
	●電源プラグがコンセントからはずれていませんか。 ●ブレーカーまたはヒューズが切れていませんか。 ●漏電遮断器が働いていませんか。 ●停電ではありませんか。	——
よく冷えない よく暖まらない	●温度調節のしかたが間違っていませんか。 ●エアフィルターが汚れていませんか。 ●エアコンの吸込口、吹出口を障害物でふさいでいませんか。 ●お部屋の窓や戸が開いていませんか。 ●冷房運転のとき、日光が室内に差し込んでいたり、室内の熱源や在室人員が多すぎたりしていませんか。	——
	●ソフト運転になっていませんか。	29
	●風量切換えが「微風」または「静音」になっていませんか。	17、19
	●サラサラ冷房、サラサラドライ運転になっていませんか。	24～25
リモコンの設定と異なる運転をする リモコンを操作しても運転しない	●リモコンの電池が消耗していませんか。 ●電池の⊕⊖が逆になっていませんか。	14
空気清浄モニターがついていない	●空気清浄運転になっていますか。	22～23
	●温度モニターを無表示にしていませんか。	28
空気清浄モニターの色がうすい	●吸込グリルがしっかり閉まっていますか。	——
空気清浄運転中に本体表示部が下記の状態になったとき ＜本体表示部＞ 運転ランプ（赤）………4回点滅 タイマーランプ（緑）…早い点滅 温度モニター……………47	●吸込グリルが確実に閉まっていますか。 グリルが確実に閉まっていないと安全装置が働き、空清運転を停止します。リモコンで運転を停止し、グリルの確認をしてから再度空清運転を行ってください。	37
	●集じんユニットが濡れていませんか。 集じんユニットが濡れていると、安全のため、空清運転を停止します。リモコンで運転を停止し、36～37ページに従って集じんユニットを取りはずし、完全に乾燥させてから取り付け、再度空清運転を行ってください。	36～37
	●集じんユニットが汚れていませんか。 集じんユニットが汚れていると、集じん性能が低下するため空清運転を停止します。リモコンで運転を停止し、36～37ページに従って集じんユニットの清掃をして、再度空清運転を行ってください。	36～37
	●集じんユニットの取り付けが不完全ではありませんか。 集じんユニットの取り付けが不完全であると、安全のため、空清運転を停止します。リモコンで運転を停止し、37ページに従って確実に取り付け、再度空清運転を行ってください。	37

以上のことをお調べになり、なお具合の悪いときや、タイマーランプ（☞11ページ）が点滅しているときは、すぐに運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買上げの販売店にご連絡ください。（☞43ページ）

アフターサービス

必ずお読みください。

保証について

保証書 （別に添付してあります）	●保証書は必ず販売店からお受け取りください。 ●販売店名、お買上げ年月日などの記入をお確かめになり、保証書内容をよくお読みいただいて、大切に保存してください。
保証期間中の修理	●正常な状態でご使用いただきながら故障した場合は、冷却ユニットについては５年間、その他の部分については１年間無料修理を行います。保証書がありませんと、保証期間中でも代金を請求される場合がありますので、よく読んで大切に保存してください。
保証期間経過後の修理	●保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。当社は販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。
補修用性能部品の 最低保有期間	●ルームエアコンの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後９年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
ご贈答品などで購入店に 修理依頼ができない場合	●お近くの当社製品取扱店か、別紙の全国サービスネットワークに記載されている最寄りの当社サービス窓口へご相談ください。

修理を依頼されるとき

次のことをお知らせください。	●形名………………本体は下面のラベルに、リモコンは裏面のラベルに記載してあります。 ●故障状態…………できるだけ詳しく （運転ランプが点滅しているときは、その点滅回数もお知らせください。） ●お買上げ年月日…保証書に書いてあります ●お名前、ご住所 ●電話番号 ●訪問ご希望日……ご都合の悪い日も

仕様

このエアコンの仕様は以下のとおりです。

項目			単位	値
形名		室内		AS45FPW2W
		室外		AO45FPW2
種類				冷房・暖房兼用形　分離形
電源				単相200V　50／60Hz
冷房面積の目安	鉄筋アパート南向き洋室		m^2	31
	木造南向き和室		m^2	20
暖房面積の目安	鉄筋アパート南向き洋室		m^2	30
	木造南向き和室		m^2	24
冷房	能力		kW	4.5（可変幅0.9～5.2）
	中間能力		kW	2.2
	消費電力		kW	1.37
	中間消費電力		kW	0.4
	運転電流		A	6.9
	エネルギー消費効率		−	3.28
	運転音	室内	dB	43
		室外	dB	46
暖房	標準能力		kW	6.7（可変幅0.9～9.0）
	中間標準能力		kW	3.3
	標準消費電力		kW	1.76
	中間標準消費電力		kW	0.62
	運転電流		A	8.9
	エネルギー消費効率		−	3.81
	運転音	室内	dB	44
		室外	dB	48
冷暖房平均エネルギー消費効率			−	3.55
外形寸法（高さ×幅×奥行）		室内	cm	29.0×99.8×21.5
		室外	cm	57.8×79.0×30.0
製品質量（総質量）		室内	kg	13.5
		室外	kg	37
付属品				リモコン（1）、単四形アルカリ乾電池（2）、リモコンホルダー（1） 光再生脱臭フィルター（1）、据付工事用部品（一式）

- この仕様の数値は50Hz、60Hz共通です。
- 電気特性、性能についてはJIS（日本工業規格）にもとづいた数値です。
- 運転音は反響の少ない無響室で測定した数値です。実際に据え付けた状態で測定すると、周囲の騒音や反響を受け、表示数値より大きくなるのが普通です（室内運転音は風量「強風」のときの数値です）。
- リモコンで停止したときの消費電力は1.3Wです（主電源スイッチが「切」のときは0Wです）。

愛情点検

長年ご使用のエアコンの点検を！

このような症状はありませんか？

- 電源コード・プラグの過熱やコードに破れがある。
- ブレーカーやヒューズがたびたび切れる。
- 運転中にこげ臭いニオイがする。
- 運転音が異常に大きい。
- 運転スイッチやボタンの操作が不確実。
- 室内ユニットから水が漏れる。
- その他の異常や故障がある。

ご使用の中止
故障や事故防止のため、すぐに運転を停止して電源プラグを抜き、お買上げの販売店または当社サービス窓口に点検・修理をご相談ください。

お客様へ……おぼえのため、お買上げ年月日、お買上げ店名を記入されると便利です。

お買上げ年月日	年　　　月　　　日
お買上げ店名	
	TEL

株式会社 富士通ゼネラル
〒213-8502　川崎市高津区末長1116番地
☎044（866）1111（大代表）

9309100053-02